

令和6年度

後期版

能力開発セミナー コースガイド

2024.10 ▶ 2025.3



確かな技術を短期で学ぶ

らしく、はたらく、
ともに



独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 熊本支部

ポリテクセンター熊本



ポリテクセンター熊本は、

厚生労働省が所管する「独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構」が職業能力開発促進法により運営する**公共職業能力開発施設**です。

能力開発セミナーとは、

高度な職業能力を有する人材育成を目的とした公共職業訓練で、在職中の方を対象としたスキルアップのための短期技術研修です。カリキュラムは、生産現場における現場力強化や技能継承、生産性向上など、**ものづくり分野の様々な課題に対応した内容となっています。**

当センターでは、年間延べ**1,200人以上**の方々にご利用頂き、受講者のアンケート調査では、**99%以上**の方々から「役に立っている」との評価を頂いております。また、セミナーに社員を派遣している事業主からも「生産性の向上や現場力の向上につながった」との評価を頂いております。



ハートレーニング
—— 急がば学べ ——

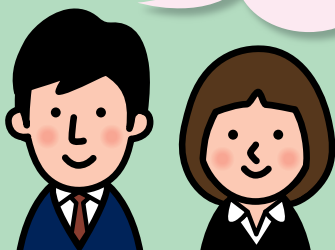
受講者の声

これまでは見て学んできたことが多かったのですが、受講して理由を学べたことで、部下の育成に活用できます。

セミナーでしか得られない知識や技能を学ぶことができ、非常に勉強になりました。

期待値を超える内容で、再度受講したくなるセミナーです。

講師の先生の技能・技術のレベルが高く、専心して受講できました。



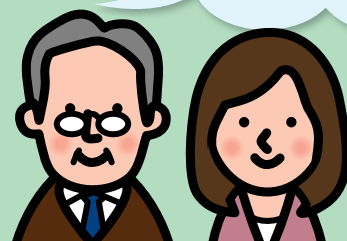
事業主の声

セミナーを受講したことにより、製造工程毎に品質の作りこみが可能になりました。

周囲の環境を皆が使いやすいように改善できるようになりました。

日々の業務時間内には、知識や技術を教える時間がなかったため、大変役に立ちました。

改善により無駄な作業の削減につながりました。



も く じ

セミナーについて・アンケート調査結果から（ご意見） 1

も く じ 2

受講のご案内（お申し込みから受講まで） 3

WEBによる能力開発セミナー情報のご案内 /
各種助成金のご案内 4

年間コース一覧（後期） 5～8

月別コース一覧（後期） 9～10

機械系体系図 11～13

電気・電子系体系図 14～16

居住系体系図 17～18

能力開発セミナーコース内容

機械系

生産管理系

電気・電子系

居住系

オーダーメイドセミナーのご案内 39

高度ポリテクセンターのご案内 40

よくあるご質問 Q&A 41～42

能力開発セミナー受講申込書 43～44

受講者変更・取消（キャンセル）届 45

施設設備ご利用のご案内 46

施設設備使用申請書 47～48

人材育成サポート 49～50

人材情報を活用しませんか？ 51

施設配置図 52

能力開発セミナーコース内容

機械系	解析 19
	NC機械加工 19
	射出成形加工 20
	精密測定 20
	機械保全 21
	溶接加工 22～23

生産管理系	指導技法・工場管理／技術管理 工程管理／生産管理 24～25
-------	--

電気・電子系	電子回路設計技術 26
	デバイス・基板製造 26
	シーケンス（PLC）制御設計 27～29
	組込みシステム開発・設計 29～30
	マイコン制御設計 31
	生産システム保全 32
	電気設備保全／電気機器設備保全 33

居住系	建築設計／建築製図 34～35
	建築設備設計・計画 36
	建築構造設計 37
	基礎工事 37
	給排水衛生設備工事 38

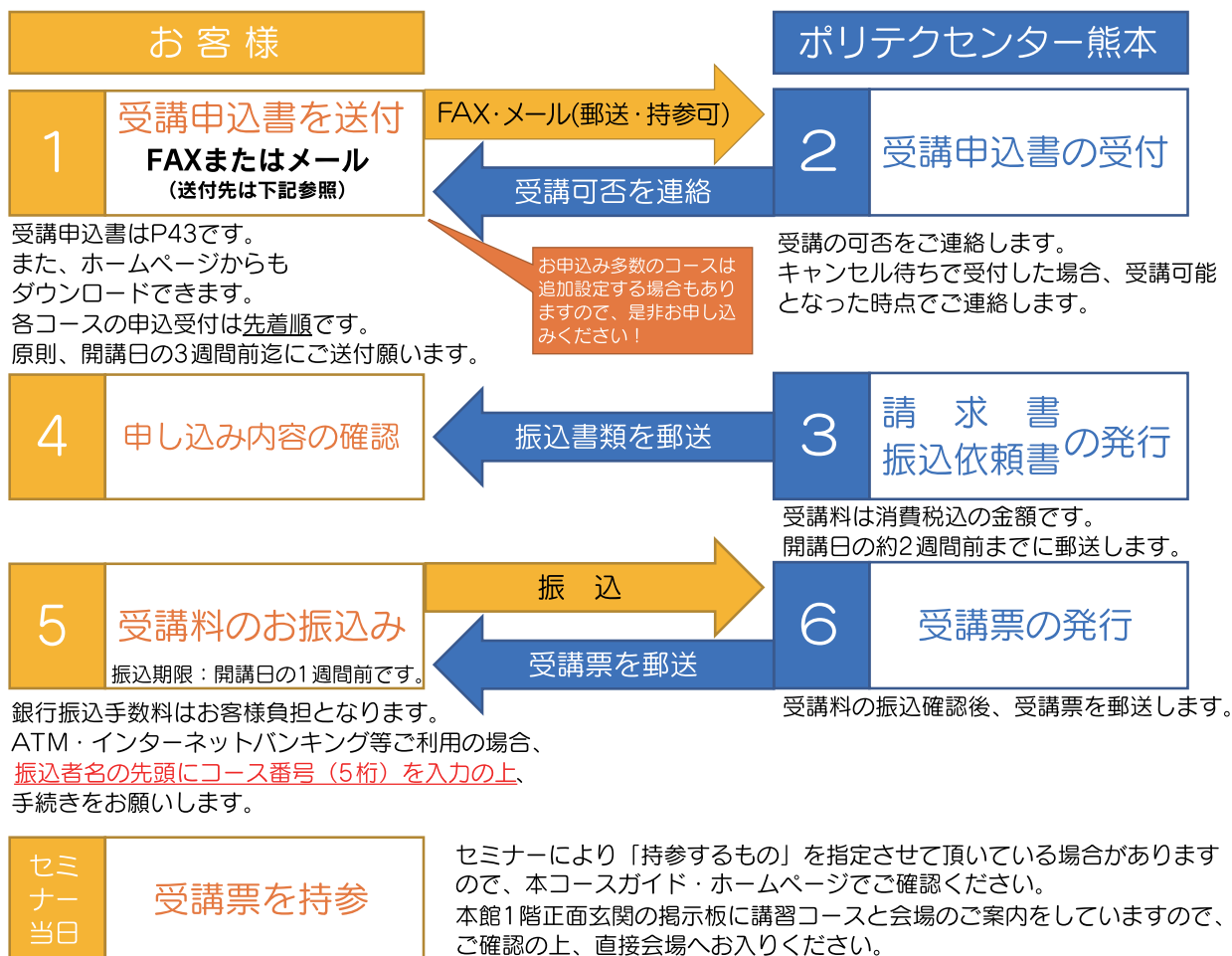
新型コロナウイルス感染症 予防に関して

当センターでは、マスクの着用につきましては、政府の方針を踏まえ、令和5年5月8日以降も引き続き、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断を基本とすることとします。

また、感染症法上の分類が変更された令和5年5月8日以降も、引き続き、「三つの密」の回避、人との距離の確保、手洗いといった基本的な感染対策について、ご協力をよろしくお願いいたします。

受講のご案内

お申し込みから受講まで



注1

受講申し込みをしているコースを取り消し（キャンセル）する場合は、当該コース開講日の1週間前（土日祝日にあたる場合はその前の平日）までにご連絡ください。この日を過ぎたお取り消しや手続きがなされない場合は、受講料を全額ご負担頂くこととなります。（但し、当センターの都合によりやむを得ず中止した場合は、返金させていただきます。）

注2

お申し込み者数が一定数に満たない場合中止となることがあります。その他の都合により、やむを得ず日程の変更または中止することがありますので、予めご了承ください。

注3

同一企業における受講者の変更は可能です。当該コース開講日の1週間前（土日祝日にあたる場合はその前の平日）までにご連絡ください。（お支払いされた受講料を他のコースへ振り替える（流用する）ことはできません。）

注4

受講中の写真・動画の撮影、録音等をご遠慮ください。

アンケート調査の実施

すべてのコースについて、受講者及びその事業主の方に対し、コース内容に関する満足度についてのアンケート調査への回答をお願いしています。また、一部のコースについては、訓練内容の活用状況等についても同様をお願いしております。

お申込みに関連するQ&Aにつきましては、本コースガイドのP41～42をご覧ください。

お申し込み先・お問い合わせ先

ポリテクセンター熊本 訓練課 在職者訓練係
〒861-1102熊本県合志市須屋2505-3 【TEL】 096-242-6613

▼▼▼受講申込書送付先▼▼▼

FAX 096-242-9935 メール kumamoto-poly03@jeed.go.jp

Webによる能力開発セミナー情報のご案内

ポリテクセンター熊本ホームページでは、能力開発セミナーの最新情報と受付状況をご覧いただけます。

<https://www3.jeed.go.jp/kumamoto/poly/> **今すぐアクセス**

The screenshot displays the website interface for Polytechnic Center Kumamoto. It features a search bar with the text 'ポリテクセンター熊本' and a '検索' button. A QR code is visible below the search bar. The main content area shows a table of seminars under the heading '令和4年度12月開催コース'. The table has columns for 'コース番号', 'コース名', '開催日程', '実施機関', '状況', and '備考'. Below the table, there is a section for '生産現場で活用するリーダーシップ手法' with a '参加申込' button. A red callout box points to the table with the text '受付状況を確認できます！'.

コース番号	コース名	開催日程	実施機関	状況	備考
22001	「グループワークを活用したコミュニケーション能力向上研修」	令和4年12月10日(土)10:00～12:00	本館1階401号研修室	申込	このコースを修了された方は、本館にて「デジタルスキル向上研修」にも参加申込みが可能です。お申し込みください。
22002	「生産現場でのリーダーシップ研修」	令和4年12月10日(土)13:00～15:00	本館1階401号研修室	申込	
22003	「生産現場でのリーダーシップ研修」	令和4年12月10日(土)15:30～17:30	本館1階401号研修室	申込	
22004	「生産現場でのリーダーシップ研修」	令和4年12月11日(日)10:00～12:00	本館1階401号研修室	申込	
22005	「生産現場でのリーダーシップ研修」	令和4年12月11日(日)13:00～15:00	本館1階401号研修室	申込	
22006	「生産現場でのリーダーシップ研修」	令和4年12月11日(日)15:30～17:30	本館1階401号研修室	申込	

能力開発セミナー情報の他にも、当センターの人材情報(訓練生・修了生)も定期的に更新しています。
人材不足にお悩みの事業主のご利用をお待ちしています。(詳細はP51)

各種助成金のご案内

能力開発セミナーに従業員を派遣する事業主の方で、受給要件を満たす場合は、次の各種助成金等をご活用いただけることがあります。

「人材開発支援助成金」・「雇用調整助成金」

人材開発支援助成金については、提出書類が一部省略され、要件が見直されるなど、利用しやすくなりました。また、「人への投資促進コース」や「事業展開等リスクリング支援コース」など事業主を支援するコースが新設されています。

受給要件及び申請手続き方法等、詳細は熊本労働局へご確認ください。

<熊本労働局HP(ホーム)>各種法令・制度・手続き>各種助成金制度)>

https://jsite.mhlw.go.jp/kumamoto-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/kakushu_joseikin.html

令和6年度（2024年度）

機械系

分野	コース番号	コース名	定員	受講料 (税込)	掲載 ページ
解析	1M221	設計者C A Eを活用した構造解析	10	12,500	19
NC機械加工	1M231	NC旋盤プログラミング技術	10	13,000	19
射出成形加工	1M311	プラスチック射出成形技術の要点	10	10,000	20
精密測定	1M182	精密測定技術（長さ測定編）	10	8,500	20
機械保全	1M281	生産現場の機械保全技術（各種要素編）	10	8,500	21
	1M291	生産現場の機械保全技術（実践編）	10	8,500	21
溶接加工	1M011	被覆アーク溶接技能クリニック	10	12,500	22
	1M022	半自動アーク溶接技能クリニック	10	11,500	22
	1M031/1M032	ステンレス鋼のT I G溶接技能クリニック	10	11,500	23

生産管理系

分野	コース番号	コース名	定員	受講料 (税込)	掲載 ページ
指導技法	1M302	生産現場で活用するリーダーシップ手法	12	7,500	24
工場管理／技術管理	1M262	製造現場におけるヒューマンエラー対策と実践的技法	12	7,500	24
工程管理／生産管理	1M201	製造現場改善のI E活用技術（生産マネジメントと実践的改善）	12	7,500	25
	1M211	製造業における実践的生産管理	12	14,000	25

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2	1	2	3	4	5	6	7
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31				

コース一覧 後期

10月	11月	12月	1月	2月	3月
			1/29,30,31		
			1/21,22,23		
		12/18,19			
10/2,3					
10/26,11/2					
	11/9,16				
			1/25,26		
10/19,20					
	11/23,24			2/1,2	

10月	11月	12月	1月	2月	3月
				2/19,20	
		12/4,5			
10/16,17					
				2/26,27,28	

1月 2025

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月 2025

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月 2025

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	30	24	31	25	26	27
				28	29	

電気・電子系

分野	コース番号	コース名	定員	受講料 (税込)	掲載 ページ
電子回路設計技術	1D141	オペアンプ回路の設計・評価技術	10	12,500	26
デバイス・基板製造	1D062	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術	10	12,500	26
シーケンス (PLC) 制御設計	1D122	有接点シーケンス制御の実践技術	10	18,000	27
	1D092	PLCプログラミング技術 (使用機器:三菱FXシリーズ)	10	9,000	27
	1D102	PLCによる自動化制御技術 (使用機器:三菱Qシリーズ)	10	12,500	28
	1D171	PLC制御の回路技術 (使用機器:三菱Qシリーズ)	10	12,500	28
	1D112	PLCによるタッチパネル活用技術	10	12,500	29
組込みシステム 開発・設計	1D013	組込みシステムにおけるプログラム開発技術 (C言語 配列・関数編)	10	9,000	29
	1D042	オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術	10	10,000	30
	1D051	オープンソースプラットフォーム活用技術 (使用機器:Android)	10	9,000	30
マイコン制御設計	1D022	マイコン制御システム開発技術 (使用機器:Arduino)	10	13,500	31
	1D032	マイコン制御システム開発技術 (使用機器:Raspberry Pi)	10	12,500	31
生産システム保全	1D151	空気圧機器の保全	10	12,500	32
	1D161	電気系保全実践技術	10	12,500	32
電気設備保全/ 電気機器設備保全	1D191	高圧電気設備の保守点検技術	10	10,000	33
	1D182/1D183	現場のための電気保全技術	10	10,500	33

居住系

分野	コース番号	コース名	定員	受講料 (税込)	掲載 ページ
建築設計/ 建築製図	1H161	実践建築設計3次元CAD技術 (プレゼンテーション編)	10	11,000	34
	1H171	在来木造住宅設計実践技術 (構造・省エネ編)	10	11,000	34
	1H122	実践建築設計2次元CAD技術 (使用機器:JW_CAD)	10	10,500	35
建築設備設計・ 計画	1H071	換気・排煙設備設計実践技術	10	8,000	36
	1H081	室内温熱環境設計技術 (空調設備編)	10	8,000	36
建築構造設計	1H151	RC構造物における構造計算技術	10	12,500	37
基礎工事	1H131	コンクリート型枠施工の実践技術	10	18,000	37
給排水衛生設備工事	1H101	トラブル事例から学ぶ各種管の加工・接合技術 (建築配管作業編)	10	13,000	38

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

10月	11月	12月	1月	2月	3月
10/29,30,31					
10/10,11					
10/22,23,24,25					
	11/19,20				
			1/15,16,17		
				2/4,5,6	
			1/28,29,30		
	11/26,27				
10/17,18					
10/24,25					
		12/16,17,18			
			1/22,23,24		
	11/26,27,28				
		12/10,11,12			
					3/5,6
			1/25,26	2/18,19	

10月	11月	12月	1月	2月	3月
10/17,18					
		12/12,13			
		12/7,8			
10/15,22					
	11/12,19				
10/22,23					
			1/12,25,26		
	11/16,23,30				

1月 2025

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月 2025

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月 2025

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	30	24	31	25	26	27
				28	29	

令和6年度（2024年度）

体系図

機械系

生産管理系

電気・電子系

居住系

Q & A

受講申込書

ご案内

施設配置図

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
10月	1M182	機械	精密測定技術（長さ測定編）	20	10/2（水）,3（木）
	1D062	電気・電子	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術	26	10/10（木）,11（金）
	1H071	居住	換気・排煙設備設計実践技術	36	10/15（火）,22（火）
	1M201	生産管理	製造現場改善のIE活用技術（生産マネジメントと実践的改善）	25	10/16（水）,17（木）
	1D042	電気・電子	オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術	30	10/17（木）,18（金）
	1H161	居住	実践建築設計3次元CAD技術（プレゼンテーション編）	34	10/17（木）,18（金）
	1M022	機械	半自動アーク溶接技能クリニック	22	10/19（土）,20（日）
	1D122	電気・電子	有接点シーケンス制御の実践技術	27	10/22（火）,23（水）,24（木）,25（金）
	1H151	居住	RC構造物における構造計算技術	37	10/22（火）,23（水）
	1D051	電気・電子	オープンソースプラットフォーム活用技術（使用機器：Android）	30	10/24（木）,25（金）
	1M281	機械	生産現場の機械保全技術（各種要素編）	21	10/26（土）,11/2（土）
	1D141	電気・電子	オペアンプ回路の設計・評価技術	26	10/29（火）,30（水）,31（木）

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
11月	1M291	機械	生産現場の機械保全技術（実践編）	21	11/9（土）,16（土）
	1H081	居住	室内温熱環境設計技術（空気調和設備編）	36	11/12（火）,19（火）
	1H101	居住	トラブル事例から学ぶ各種管の加工・接合技術（建築配管作業編）	38	11/16（土）,23（土）,30（土）
	1D092	電気・電子	PLCプログラミング技術（使用機器：三菱FXシリーズ）	27	11/19（火）,20（水）
	1M031	機械	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	23	11/23（土）,24（日）
	1D013	電気・電子	組込みシステムにおけるプログラム開発技術（C言語 配列・関数編）	29	11/26（火）,27（水）
	1D151	電気・電子	空気圧機器の保全	32	11/26（火）,27（水）,28（木）

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
12月	1M262	生産管理	製造現場におけるヒューマンエラー対策と実践的技法	24	12/4（水）,5（木）
	1H122	居住	実践建築設計2次元CAD技術（使用機器：JW_CAD）	35	12/7（土）,8（日）
	1D161	電気・電子	電気系保全実践技術	32	12/10（火）,11（水）,12（木）
	1H171	居住	在来木造住宅設計実践技術（構造・省エネ編）	34	12/12（木）,13（金）
	1D022	電気・電子	マイコン制御システム開発技術（使用機器：Arduino）	31	12/16（月）,17（火）,18（水）
	1M311	機械	プラスチック射出成形技術の要点	20	12/18（水）,19（木）

10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

月別コース一覧 後期

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
1月	1H131	居住	コンクリート型枠施工の実践技術	37	1/12(日), 25(土), 26(日)
	1D102	電気・電子	PLCによる自動化制御技術 (使用機器:三菱Qシリーズ)	28	1/15(水), 16(木), 17(金)
	1M231	機械	NC旋盤プログラミング技術	19	1/21(火), 22(水), 23(木)
	1D032	電気・電子	マイコン制御システム開発技術 (使用機器: Raspberry Pi)	31	1/22(水), 23(木), 24(金)
	1D182	電気・電子	現場のための電気保全技術	33	1/25(土), 26(日)
	1M011	機械	被覆アーク溶接技能クリニック	22	1/25(土), 26(日)
	1D112	電気・電子	PLCによるタッチパネル活用技術	29	1/28(火), 29(水), 30(木)
	1M221	機械	設計者CAEを活用した構造解析	19	1/29(水), 30(木), 31(金)

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
2月	1M032	機械	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック	23	2/1(土), 2(日)
	1D171	電気・電子	PLC制御の回路技術 (使用機器:三菱Qシリーズ)	28	2/4(火), 5(水), 6(木)
	1D183	電気・電子	現場のための電気保全技術	33	2/18(火), 19(水)
	1M302	生産管理	生産現場で活用するリーダーシップ手法	24	2/19(水), 20(木)
	1M211	生産管理	製造業における実践的生産管理	25	2/26(水), 27(木), 28(金)

月	コース番号	系	コース名	掲載ページ	日程
3月	1D191	電気・電子	高圧電気設備の保守点検技術	33	3/5(水), 6(木)

1月 2025

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月 2025

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

3月 2025

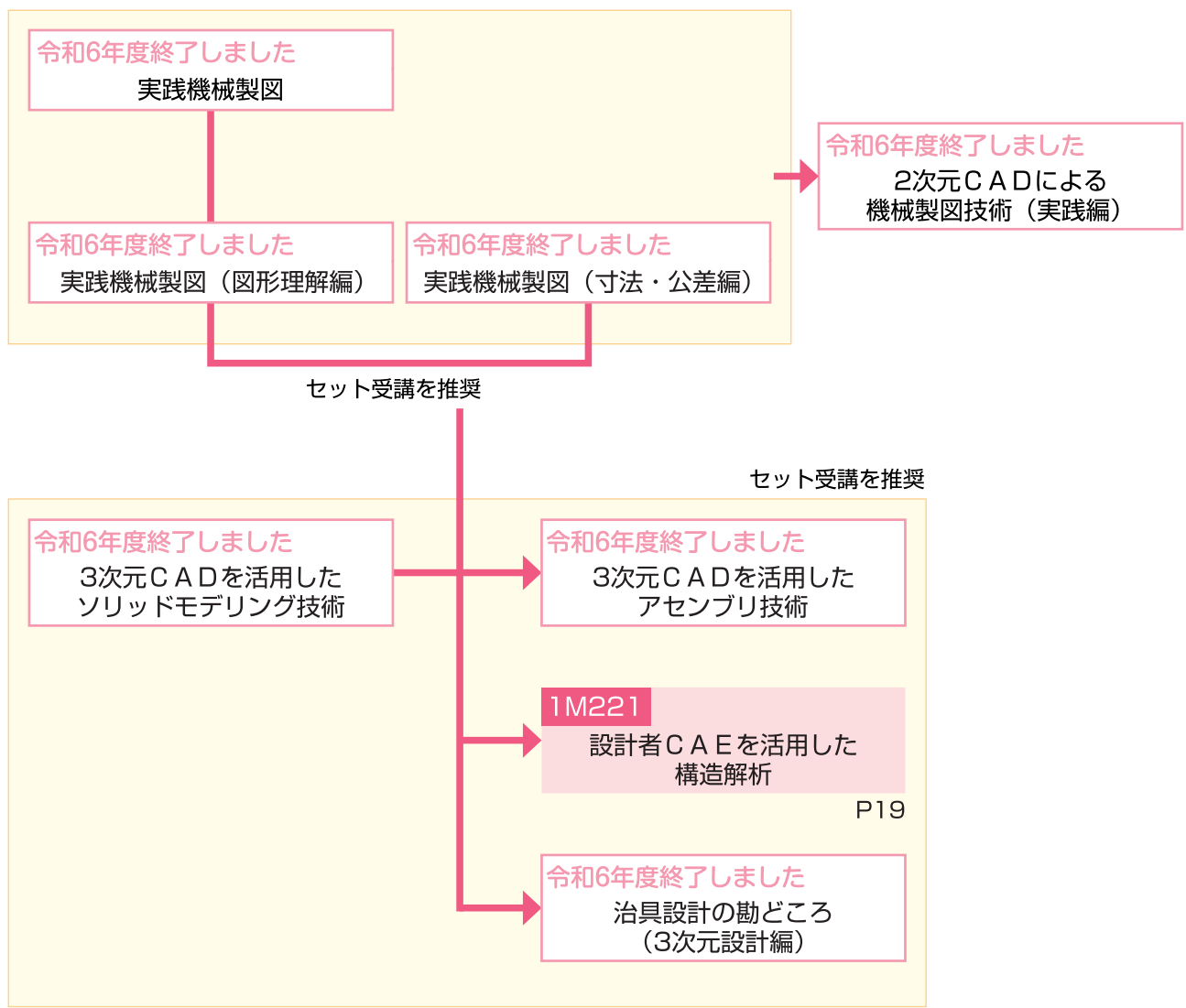
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

機械系 体系図

- 機械設計・製図を習得したい方
「機械設計・製図」フローへ
- 測定技術を習得したい方
「測定技術」フローへ
- 機械加工を習得したい方
「機械加工」フローへ
- 機械保全を習得したい方
「機械保全」フローへ
- 工程管理を習得したい方
「工程管理／生産管理」フローへ
- 安全・教育を習得したい方
「安全・教育」フローへ
- 溶接加工を習得したい方
「溶接加工」フローへ

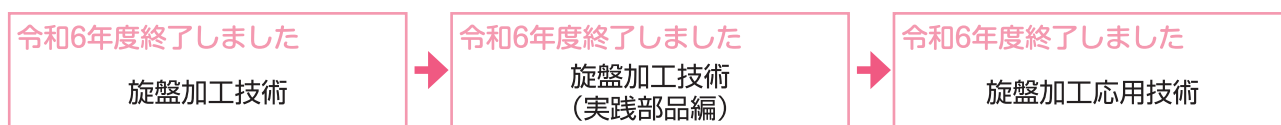
機械設計・製図 関連技術

(※推奨コースフローであり、必ずしもこの流れで受講しなくても差し支えありません。)



機械加工 関連技術

(※推奨コースフローであり、必ずしもこの流れで受講しなくても差し支えありません。)



セット受講を推奨



セット受講を推奨



セット受講を推奨

令和6年度終了しました
マシニングセンタ
プログラミング技術

1M231

NC旋盤プログラミング技術

P19

1M311

プラスチック射出成形技術の要点

P20

測定技術 関連技術

1M182

精密測定技術 (長さ測定編)

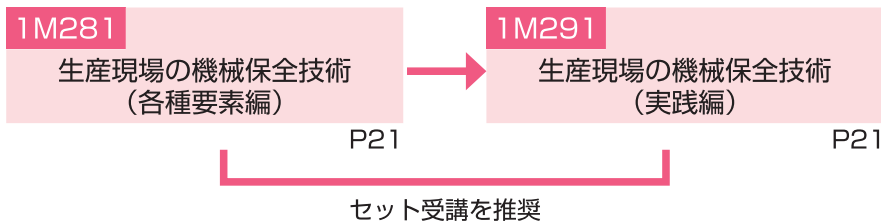
P20

令和6年度終了しました
生産現場に活かす品質管理技法
(QC7つ道具編)

機械保全 関連技術

(※推奨コースフローであり、必ずしもこの流れで受講しなくても差し支えありません。)

令和6年度終了しました
MP (保全予防) 設計体系構築技術
ーライフコストミニマム実現ー



工程管理 / 生産管理 関連技術

1M211
製造業における実践的生産管理
P25

1M201
製造現場改善のIE活用技術
(生産マネジメントと実践的改善)
P25

安全・教育 関連技術

1M262
製造現場におけるヒューマン
エラー対策と実践的技法
P24

1M302
生産現場で活用する
リーダーシップ手法
P24

溶接加工 関連技術

1M011
被覆アーク溶接技能クリニック
P22

1M022
半自動アーク溶接
技能クリニック
P22

1M031 / 1M032
ステンレス鋼の
TIG溶接技能クリニック
P23

令和6年度終了しました
アルミニウム合金の
TIG溶接技能クリニック

【ご案内】

今年度すでに終了している訓練コースについては、事業主及び事業主団体の皆様のご要望に応じて、「オーダーメイドセミナー」として実施できる場合がございます。
詳細は、「オーダーメイドセミナーのご案内(P.39)」をご確認ください。

電気・電子系体系図

○ 電気設備の保全を習得したい方
「電気設備」フローへ

○ 電子回路を習得したい方
「電子回路系」フローへ

○ 自動化制御を習得したい方
「自動化制御」フローへ

○ 「Android」関連技術を習得したい方
「組み込みマイコン (Android)」
フローへ

○ 組み込みマイコン技術を習得したい方
「組み込みマイコン (C言語・IoT)」
フローへ

電気設備 関連技術

1D182/1D183

現場のための電気保全技術

P33

1D191

高圧電気設備の保守点検技術

P33

1D151

空気圧機器の保全

P32

電子回路系 関連技術

(※推奨コースフローであり、必ずしもこの流れで受講しなくても差し支えありません。)

令和6年度終了しました
トランジスタ回路の設計と
評価の実践技術

令和6年度終了しました
デジタル回路設計技術

1D141

オペアンプ回路の
設計・評価技術

P26

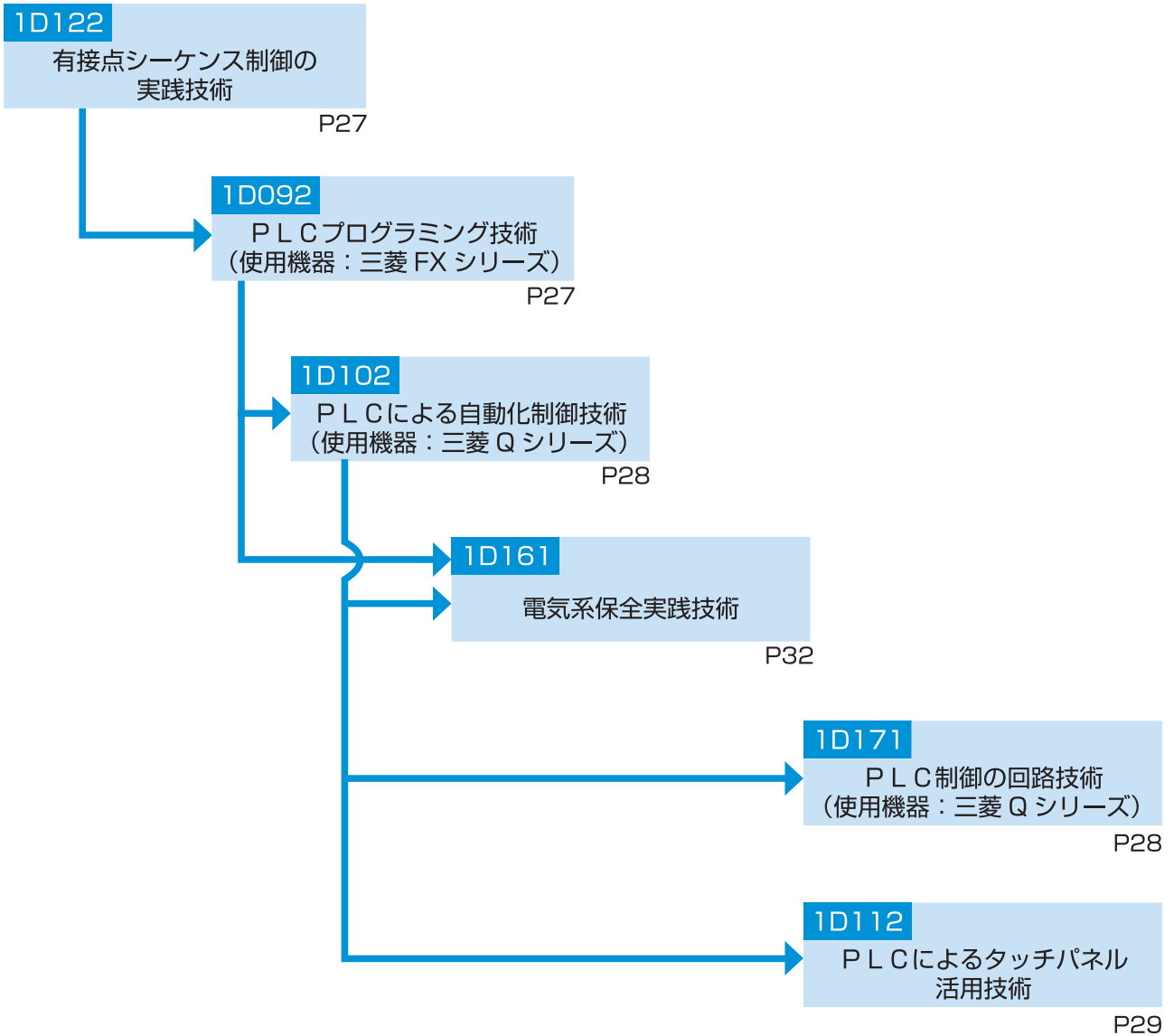
1D062

基板製作に係る鉛フリー
はんだ付け技術

P26

自動化制御 関連技術

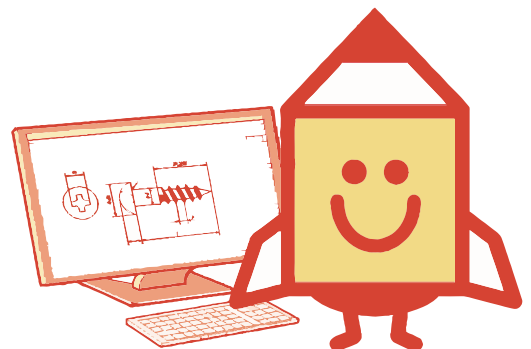
(※推奨コースフローであり、必ずしもこの流れで受講しなくても差し支えありません。)



【ご案内】

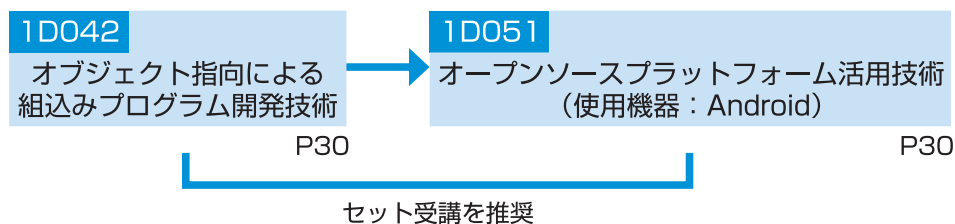
今年度すでに終了している訓練コースについては、事業主及び事業主団体の皆様のご要望に応じて、「オーダーメイドセミナー」として実施できる場合がございます。

詳細は、「オーダーメイドセミナーのご案内(P.39)」をご確認ください。



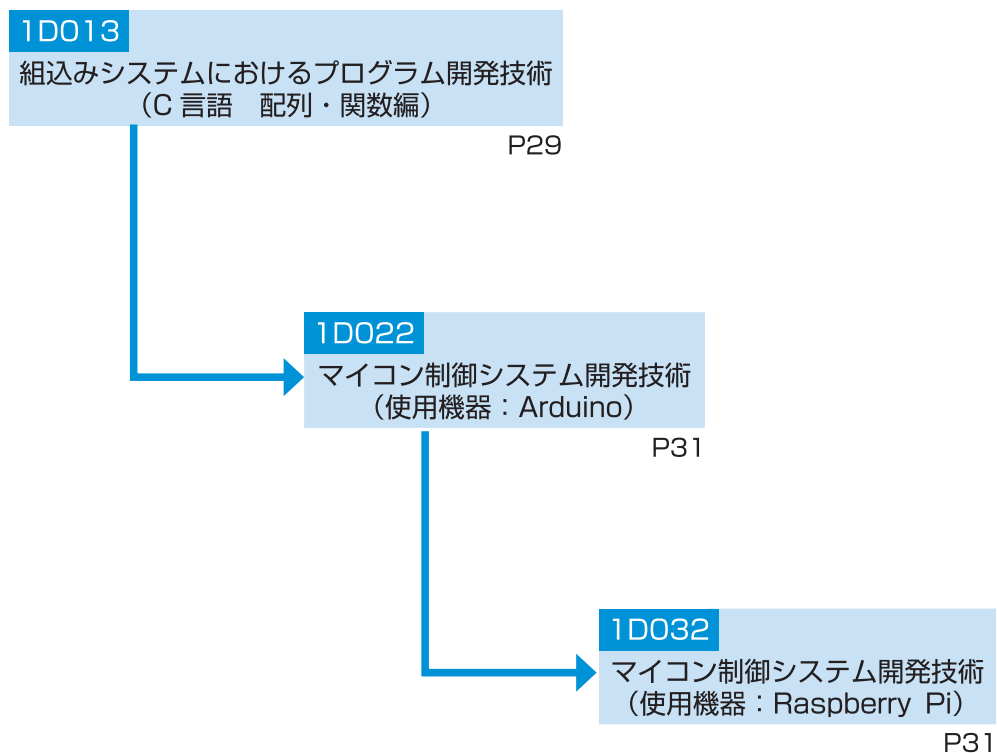
組み込みマイコン（Android） 関連技術

（※推奨コースフローであり、必ずしもこの流れで受講しなくても差し支えありません。）



組み込みマイコン（C言語・IoT） 関連技術

（※推奨コースフローであり、必ずしもこの流れで受講しなくても差し支えありません。）



居住系体系図

- 給排水・空調・換気・排煙を習得したい方
「建築設備設計」フローへ
- 設備CADを習得したい方
「建築設備設計」フローへ
- 消防設備を習得したい方
「建築設備工事」フローへ
- 給水装置工事を習得したい方
「建築設備工事」フローへ
- 建築配管を習得したい方
「建築設備工事」フローへ
- 建築CADを習得したい方
「建築計画／建築意匠設計」フローへ
- コンクリート型枠施工を習得したい方
「建築施工」フローへ
- 構造計算を習得したい方
「建築構造設計」フローへ

建築設備設計 関連技術

令和6年度終了しました 給排水衛生設備設計 実践技術	1H071 換気・排煙設備設計設計実践技術 P36	1H081 室内温熱環境設計技術 (空気調和設備編) P36
令和6年度終了しました 実践建築設計2次元CAD技術 (電気・空調・給排水設備編)		

建築設備工事 関連技術

令和6年度終了しました 自動火災報知設備工事の 施工・保守技術	1H101 トラブル事例から学ぶ各種管の加工・ 接合技術(建築配管作業編) P38
令和6年度終了しました 給水装置工事における 衛生的環境に配慮した工事施工法	

【ご案内】
今年度すでに終了している訓練コースについては、事業主及び事業主団体の皆様のご要望に応じて、「オーダーメイドセミナー」として実施できる場合がございます。
詳細は、「オーダーメイドセミナーのご案内(P.39)」をご確認ください。

建築計画／建築意匠設計 関連技術

1H122

実践建築設計2次元CAD技術
(使用機器: JW_CAD)

P35

1H161

実践建築設計3次元CAD技術
(プレゼンテーション編)

P34

1H171

在来木造住宅設計実践技術
(構造・省エネ編)

P34

建築施工 関連技術

1H131

コンクリート型枠施工の実践技術

P37

建築構造設計 関連技術

令和6年度終了しました

鉄骨構造物における構造計算技術

1H151

RC構造物における構造計算技術

P37



●解析

受付状況の確認は web サイト→ **ポリテクセンター熊本** 検索

設計者CAEを活用した構造解析

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00 ~ 16:00	12,500円

◆ **構造解析を学び、機械設計にCAEを活用したい方におすすめのコースです。**

訓練内容

設計内容の最適化や設計業務の効率化をめざして、有限要素法による計算誤差の仕組みや、応力、ひずみなど、構造解析に必要な力学の基礎を理解し、CAEシステムによる計算問題の設定方法や、結果の見方を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的
 - ・専門的能力の現状確認
- ②構造解析の概要
 - ・線形と非線形
 - ・構造解析に必要な力学の基礎知識
- ③有限要素法と計算精度
 - ・有限要素法の概要
 - ・計算結果の検証
- ④モデル化演習
 - ・境界条件の設定
 - ・材料特性
 - ・メッシュ分割
 - ・計算結果の評価
- ⑤課題演習
 - ・片持ち梁のたわみ
 - ・境界条件と解析問題の簡略化
- ⑥総括とまとめ
 - ・質疑応答
 - ・まとめ

※材料力学に関する基礎知識（応力、ひずみ、ヤング率）を有する事が望ましい。

対象者

機械設計関連の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

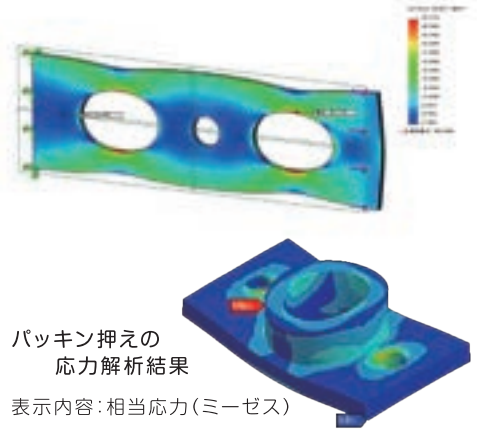
持参品

関数電卓、筆記用具

使用機器

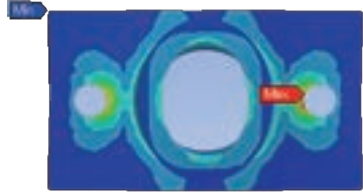
3次元CAD/CAEシステム(SolidWorks、SolidWorksSimulation)

コース番号	日程
1M221	令和7年1/29(水)、30(木)、31(金)



パッキン押えの
応力解析結果

表示内容: 相当応力(ミーゼス)



●NC機械加工

NC旋盤プログラミング技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00 ~ 16:00	13,000円

◆ **NC旋盤プログラムの各種機能やプログラムフォーマットについて身に付けたい方におすすめのコースです。**

訓練内容

基本的なプログラムを理解し、プログラミングをより効率化する知識、およびノーズR補正の適切な使い方を理解し、高精度加工に対応した知識等により、実践的なプログラミング・加工方法を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②NC旋盤の各種機能とプログラム作成
 - ・主軸
 - ・送り
 - ・工具
 - ・準備
 - ・補助機能
 - ・機械座標系とワーク座標系
 - ・工具補正機能及び注意事項
 - ・複合固定サイクル
- ③プログラミング課題実習
 - ・課題提示および注意点
 - ・加工工程の検討・作成
 - ・プログラミング作業
 - ・疑問点、問題点の抽出
- ④プログラムの検証と評価
 - ・プログラムの確認と検討
 - ・改善策とその検証
- ⑤総括とまとめ
 - ・質疑応答
 - ・まとめ

※マニュアルプログラミングの実施であり、対話型プログラミングは使用しません。

対象者

機械加工作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

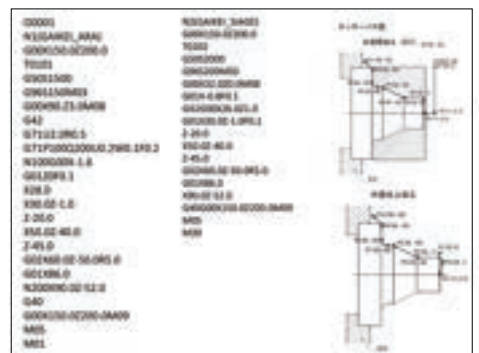
持参品

筆記用具、関数電卓

使用機器

NC旋盤 (TAKISAWA TCN-2000)、各種切削工具、測定機器等

コース番号	日程
1M231	令和7年1/21(火)、22(水)、23(木)



●射出成形加工

受講申込メールアドレス kumamoto-poly03@jeed.go.jp
 コースのお問い合わせ先 096-242-6613

プラスチック射出成形技術の要点

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	10,000円

◆ 射出成形は多岐にわたる用語の理解が重要です。金型、成形機、不良、材料などの知識を整理したい方におすすめのコースです。

訓練内容

射出成形やプラスチック金型の生産性の向上をめざして、射出成形に関する用語の理解と金型モデルの分解・組立実習を通して、金型・成形機・成形不良・プラスチック材料など射出成形に関する広範な知識・技能を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
- ②プラスチックの加工概要
 - ・プラスチック材料の要点
 - ・各種加工方法
- ③射出成形の要点
 - ・射出成形機の概要と構造
 - ・射出成形の加工プロセス(型締力、計量値ほか)
- ④モデル金型分解・組立て実習
 - ・金型の機能、役割、基本構造
 - ・金型の要点
- ⑤まとめ
 - ・確認問題

対象者

射出成形及びその関連業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具、関数電卓

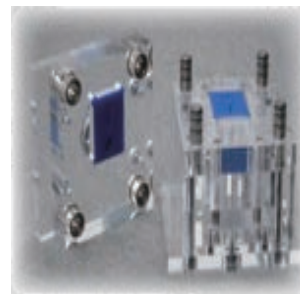
使用機器

金型モデル、成形品サンプル

コース番号	日程
1M311	12/18(水)、19(木)

受講者の声

- 会社にある設備・不具合に対しての教育はあるが、その他は無いので勉強になりました。
- 同じ不良でも会社で使っている名称が違うことがわかった、対策等もわかりやすかった。
- 知っている単語の正確な意味や理論など分からなかった部分が知れたのでよかったです。



●精密測定

精密測定技術（長さ測定編）

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	8,500円

◆ 測定に関する知識やノギス・マイクロメータ・ダイヤルゲージなどの代表的な長さ測定器の正しい取り扱いなどを学び、信頼性の高い測定をする場合に必要な知識や技能を習得したい方におすすめのコースです。

訓練内容

測定作業の生産性向上をめざして、適正化に向けた測定実習を通して、精密で信頼性の高い測定を行うための理論を学び、測定器の定期検査方法を含めた正しい取り扱いと、測定方法、データ活用、誤差要因とその対処に必要な技能・技術を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の確認
 - ・安全上の留意事項
- ②測定の重要性
 - ・測定におけるトレーサビリティ
 - ・測定データにおける不確かさ
- ③長さ測定実習
 - ・測定器の精度と特性
 - ・ノギスの取扱と測定実習
 - ・マイクロメータの取扱と測定実習
 - ・ダイヤルゲージの取扱と測定実習
- ④測定誤差の原因と対策
 - ・不慣れによる測定誤差
 - ・熱的影響による測定誤差
- ⑤総括とまとめ
 - ・質疑応答
 - ・まとめ

対象者

機械加工作業及び測定・検査業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、ハイトゲージ、ブロックゲージ、定盤、シリンダーゲージ等

コース番号	日程
1M182	10/2(水)、3(木)

受講者の声

- 自分自身の持つ知識の確認ができました。また、指導法も大変参考になりました。
- 頂いた資料は、業務に大いに役立てていきたい。
- 会社で分からなかった内容が理解できるようになりました。



● 機械保全

受付状況の確認は web サイト → [ポリテクセンター熊本](#)

検索

生産現場の機械保全技術（各種要素編）

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	8,500円

◆ 生産現場の機械保全に関する理論・知識を網羅したい方におすすめです。

訓練内容

機械保全の現場力強化をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた機械要素の保全学習を通して、機械を構成する部品の損傷およびトラブルの原因を理解し、機械装置のトラブルを未然に防ぐための設備診断・保全に関する技能と技術を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②機械保全とトラブル事例
 - ・機械保全を取り巻く構成要素
 - ・機械保全とトラブル事例
 - ・機械保全における安全上の留意事項
- ③各種機械要素の損傷と対策
 - ・転がり軸受けの損傷事例と対策
 - ・歯車の損傷事例と対策
 - ・密封装置の損傷事例と対策
 - ・軸の損傷事例と対策
 - ・その他の機械要素の損傷事例と対策
- ④総括とまとめ
 - ・確認テスト
 - ・質疑応答
 - ・まとめ

対象者

生産現場の機械保全作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

※各自でテキストをご準備していただくコースです。
テキストは決まり次第ご連絡いたします。(価格は 3,000 円程度)

コース番号	日程
1M281	10/26(土)、11/2(土)

※下記の「生産現場の機械保全技術（実践編）」とのセット受講がおすすめです。

受講者の声

- 故障した時や機械の動きについて、深く学びました。
- 伝達や経験で行ってきた仕事の内容が理解できました。



● 機械保全

生産現場の機械保全技術（実践編）

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	8,500円

◆ 生産現場の機械保全に関する理論・知識を網羅したい方におすすめです。

訓練内容

機械保全の現場力強化をめざして、各種機械要素、特に油圧、空圧機器に重点を置いた保全学習を通して、機械を構成する部品の損傷およびトラブルの原因を理解し、機械装置のトラブルを未然に防ぐための設備診断・保全に関する技能と技術を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②機械保全とトラブル事例
 - ・機械保全を取り巻く構成要素
 - ・機械保全とトラブル事例
 - ・機械保全における安全上の留意事項
- ③潤滑剤と油・空圧機器
 - ・潤滑剤の不具合事例と対策
 - ・油圧機器の不具合事例と対策
 - ・空圧機器の不具合事例と対策実習
- ④機械保全で具備すべき特殊技能
- ⑤総括とまとめ
 - ・確認テスト
 - ・質疑応答
 - ・まとめ

対象者

生産現場の機械保全作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

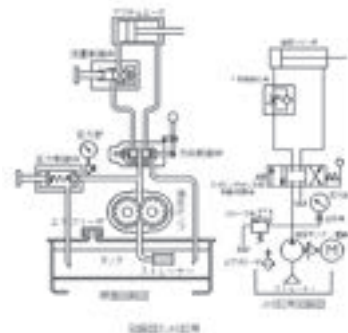
※各自でテキストをご準備していただくコースです。
テキストは決まり次第ご連絡いたします。(価格は 3,000 円程度)

コース番号	日程
1M291	11/9(土)、16(土)

※上記の「生産現場の機械保全技術（各種要素編）」とのセット受講がおすすめです。

受講者の声

- 設備のトラブル発生時、原因、対策、予防保全等勉強になりました。
- 専門的な名称や用語の知識の向上になりました。



●溶接加工

受講申込メールアドレス kumamoto-poly03@jeed.go.jp
 コースのお問合わせ先 096-242-6613

被覆アーク溶接技能クリニック

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	12,500円

◆被覆アーク溶接機の基本的な取り扱いをはじめ、各種継手及び JIS 課題 (N-2F 等) の溶接技術を習得するコースです。

訓練内容

被覆アーク溶接作業の各種継手の溶接実習を通して、溶融池制御のやり方や電流、アーク長、溶接速度、開先条件などの各種溶接条件についての理解を深めるとともに、課題実習や曲げ試験を通して溶接技能の高度化をすすめ、高い品質の溶接施工を行うための実践的スキルや作業要領を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的 ・専門的能力の現状確認
 - ・問題点の整理 ・安全上の留意事項
- ②被覆アーク溶接に係る知識
 - 被覆アーク溶接法と機器
 - ・原理と特徴 ・溶接電源 ・電撃防止装置等
 - 被覆アーク溶接棒
 - ・溶接棒の種類と特徴 ・溶接棒の管理について
 - 溶接施工実務
 - ・溶接施工前の段取り作業 ・溶接施工 ・溶接欠陥とその対策
- ③溶接施工実習 (要求に応じた溶接施工)
 - ・被覆アーク溶接機の取り扱い方 ・ビード置き、すみ内溶接等の各種溶接施工
 - ・突合せ継手 (N-2F 等) の溶接施工 ・曲げ試験
- ④品質の問題把握と解決手法
 - ・製品の評価方法 ・技量の診断 ・問題点の把握、解決手法
 - ・溶接作業員に対する技術的指導・育成方法
- ⑤まとめ

対象者

アーク溶接作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

作業服、作業帽、安全靴、溶接保護具一式、筆記用具

使用機器

BP-300、安全保護具、器工具一式等

コース番号	日程
1M011	令和7年1/25(土)、26(日)

受講者の声

- 専門的な技術を経験できました。
- 作業における知識等が身についた為、作業性の向上につながります。
- これまでアーク溶接の知識や技能がなかったため、今回のセミナーを受けて実際に使うことができるようになりました。



●溶接加工

半自動アーク溶接技能クリニック

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	11,500円

◆半自動アーク溶接機の基本的な取り扱いをはじめ、各種継手及び JIS 課題 (SN-2F 等) の溶接技術を習得するコースです。

訓練内容

半自動アーク溶接作業の各種継手の溶接実習を通して、溶融池制御のやり方や電流、アーク長、溶接速度、開先条件などの各種溶接条件についての理解を深めるとともに、課題実習や曲げ試験を通して溶接技能の高度化をすすめ、高い品質の溶接施工を行うための実践的スキルや作業要領を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的 ・専門的能力の現状確認 ・問題点の整理 ・安全上の留意事項
- ②半自動アーク溶接に係る知識
 - 半自動アーク溶接法と機器
 - ・原理と特徴 ・溶接電源 ・溶接トーチ、ワイヤ送給装置など
 - 溶接材料
 - ・溶接ワイヤ ・シールドガスなど
 - 溶接施工実務
 - ・溶接施工前の段取り作業 ・溶接施工 ・溶接欠陥とその対策
- ③溶接施工実習 (要求に応じた溶接施工)
 - ・半自動アーク溶接機の取り扱い方 ・ビード置き、十字継手等の各種溶接施工
 - ・突合せ継手 (SN-2F 等) の溶接施工 ・曲げ試験
- ④品質の問題把握と解決手法
 - ・製品の評価方法 ・技量の診断 ・問題点の把握、解決手法
 - ・溶接作業員に対する技術的指導・育成方法
- ⑤まとめ

対象者

アーク溶接作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

作業服、作業帽、安全靴、溶接保護具一式、筆記用具

使用機器

DM-350・WelbeeM350、安全保護具、器工具一式等

コース番号	日程
1M022	10/19(土)、20(日)

受講者の声

- 短い時間で分かりやすく、丁寧に教えて頂きました。
- 曖昧な知識がしっかりとした理解につながりました。
- これから必要になってくる技能の習得に役立ちました。



●溶接加工

受付状況の確認は web サイト→

ポリテクセンター熊本

検索

ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00～16:00	11,500円

◆ TIG 溶接機の基本的な取り扱いをはじめ、ステンレス鋼 (t1.5～t3.0mm 程度) の各種継手の溶接技術を習得するコースです。

訓練内容

ステンレス鋼の各種継手を作業課題として、溶融池制御のやり方や電流、溶接速度、開先条件などの各種溶接条件についての理解を深めるとともに、課題実習や曲げ試験を通して溶接技能の高度化をすすめ、高い品質の溶接施工を行うための実践的技術や作業要領を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・問題点の整理
 - ・安全上の留意事項
- ②TIG 溶接及びステンレス鋼に係る知識
 - TIG 溶接法と機器の取り扱い
 - ・原理と特徴
 - ・溶接電源
 - ・溶接トーチ
 - 溶接材料についての関連知識
 - ・溶加棒
 - ・シールドガス
 - ・タングステン電極
 - 溶接施工実務についての関連知識
 - ・ステンレス鋼の溶接特性
 - ・目的に応じた溶接施工
 - ・溶接欠陥とその対策
- ③溶接施工実習 (要求に応じた溶接施工)
 - ・TIG 溶接機の取り扱い方
 - ・角溶接、すみ肉溶接等の各種溶接施工
 - ・突合せ溶接 (TN-F 等) の溶接施工
 - ・曲げ試験
- ④品質の問題把握と解決手法
 - ・製品の評価方法
 - ・技量の診断
 - ・問題点の把握、解決手法
 - ・溶接作業者に対する技術的指導・育成方法
- ⑤まとめ

対象者

TIG 溶接作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

作業服、作業帽、安全靴、溶接保護具一式、筆記用具

使用機器

DA-300P、安全保護具、器工具一式等

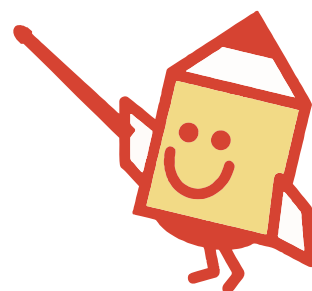
コース番号	日程
1M031	11/23(土)、24(日)
1M032	令和7年2/1(土)、2(日)

受講者の声

- 今まで特に考えずにやっていた作業の詳細が明確になり、良く理解できました。
- 自分が思っていた事とは違う技術を知り、新たな発想が生まれた良い機会となりました。
- TIG 溶接について知ることができ、今後職場で活用していきたいです。



MEMO



●指導技法

生産現場で活用するリーダーシップ手法

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
12名	2日	12時間	9:00～16:00	7,500円

◆生産現場のリーダーとして必要となるリーダーシップ手法を習得するコースです。

訓練内容

指導技法の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた生産現場における事例演習を通して、部下の指導方法や育成方法など製造業に適したリーダーシップ手法を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②生産現場とリーダーシップ
 - ・リーダーシップが与える生産活動への影響
- ③現場管理者がめざすもの
 - ・生産現場における現場管理者の役割と指示のあり方
 - ・変化しつづける製造現場への対応と生産性の向上
 - ・目標達成に必要な行動、現場管理者の姿
- ④リーダーシップの要点
 - ・三つのスキル（テクニカル ヒューマン コンセプチュアル）
 - ・チームメンバーとの連携とコミュニケーション
 - ・部下の個性に応じた指導及び成長の確認
- ⑤生産現場における事例演習
 - ・生産現場で発生する問題への対処法
 - ・製造現場で発生する課題とリーダーの役割
 - ・生産性改善のためのチーム作りとコミュニケーション
- ⑥総括とまとめ
 - ・質疑応答
 - ・まとめ

対象者

生産現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

コース番号	日程
1M302	令和7年2/19(水)、20(木)

受講者の声

- リーダーとして、どう課題に向き合うか、どう同僚や部下に接するか考えることができました。
- 会社の考え方、コミュニケーションの取り方が理解できました。
- リーダー業務に必要なスキルを理解することができました。



●工場管理／技術管理

製造現場における ヒューマンエラー対策と実践的技法

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
12名	2日	12時間	9:00～16:00	7,500円

◆生産現場の運営・管理・業務改善に従事する方におすすめです。

訓練内容

安全管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けたヒューマンエラーの現状や発生のメカニズムを認識し、エラー低減に必要な防止策（現場改善等）を講じるための能力を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練コースの概要説明
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②ヒューマンエラーとは
 - ・ヒューマンエラーの定義
 - ・脳の働きとヒューマンエラー
 - ・ヒューマンエラーの発生要因（見間違い、勘違い、思い込み）
- ③ヒューマンエラー発生の問題発見
 - ・ヒューマンエラーの発生原因を見つける視点
 - ・情報処理における発生要因
 - ・内的要因と外的要因
- ④ヒューマンエラー防止策
 - ・ヒューマンエラーへの具体的対応、取り組みポイント
 - ・未然防止の考え方
 - ・災害発生のメカニズム
 - ・各種手法の活用（エラーチェーン分析 等）
- ⑤ヒューマンエラー発生要因分析・対策実習
 - ・ヒューマンエラー発生要因分析（グループディスカッション）
 - ・ヒューマンエラー防止策提案と実施（グループディスカッション）
 - ・討議内容発表
- ⑥総括とまとめ
 - ・質疑応答
 - ・講評とまとめ

対象者

工場管理、生産管理、物流管理に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

コース番号	日程
1M262	12/4(水)、5(木)

受講者の声

- 品質的な問題が多く発生しているため、対策の取り方などの改善にとっても役立つ内容でした。
- 職場で起きている問題に対して、新しい観点で見ることができるようになりました。
- 職場で活かせるやり方が分かりました。



● 工程管理 / 生産管理

受付状況の確認は web サイト→

ポリテクセンター熊本

検索

製造現場改善の I E 活用技術 (生産マネジメントと実践的改善)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
12名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	7,500円

◆ IE手法を学び、生産性の高い作業方式立案と共に実践的な作業管理が行える能力を習得したい方におすすめのコースです。

訓練内容

生産計画/生産管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた作業に潜む様々なムダを発見・改善する実践的なIE手法実習を通して、生産性の高い作業方式立案と共に実践的な作業管理が行える能力を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的
 - ・専門的能力の確認
 - ・安全上の留意事項
- ②企業活動と生産性
 - ・企業活動と生産性
 - ・生産マネジメントの要点
 - ・作業改善とIE
- ③IE分析手法
 - ・工程分析(製品工程分析・作業者工程分析)と改善着眼点
 - ・稼働分析(ワークサンプリング他)と改善着眼点
 - ・動作研究と動作経済の原則
 - ・連合分析(人・機械、組み作業)と段取り改善
 - ・ラインバランスと改善着眼点
 - ・マテハン・レイアウト(運搬分析、レイアウト種類)
- ④IE分析実習
 - ・実技課題と工程分析実習、ワークサンプリング実習
 - ・改善提案と改善実施(グループレディスカッション)
 - ・討議内容発表
 - ・改善効果確認
- ⑤まとめ
 - ・質疑応答
 - ・まとめ

対象者

製造業における生産活動に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

パソコン、プロジェクタ

コース番号	日程
1M201	10/16(水)、17(木)

受講者の声

- 自身の部署内でのムダ等を排除し、改善し、結果的にコスト削減につながり良い製品が出来る様に感じた。
- 一つ一つの説明、方法等、例えばの話も交えてセミナーを進めて頂いて理解しやすかったです。全ての部分を早急に実行出来るわけではありませんが、見て気付く点から改善していきたいと思います。
- 資料が分かりやすく、話も聞きやすかったです。内容的にはすぐに理解できない部分や難しい部分もありましたが、とても面白いと感じました。今回のセミナーで学んだことを、少しずつにはなるとは思いますが、標準時間の設定など会社のために役立てていきたいと思っています。



● 工程管理 / 生産管理

製造業における実践的生産管理

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
12名	3日	18時間	9:00 ~ 16:00	14,000円

◆ 生産管理の原理・原則を理解し製造活動における課題の把握力や柔軟な対応力・改善能力を習得したい方におすすめのコースです。

訓練内容

生産計画/生産管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた生産管理の原理・原則を理解し製造活動における課題の把握力や柔軟な対応力・改善能力を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・コースの目的
 - ・専門的能力の現状把握
 - ・安全上の留意事項
- ②生産管理とは
 - ・生産管理の概要
 - ・各業務別管理の要点
 - ・生産に付随する管理の要点
- ③生産管理の実態
 - ・製造企業の実態
 - ・製造企業の実態
 - ・参加企業が困っている生産管理の問題点と改善方針(質疑・応答形式)
- ④生産管理演習
 - ・生産期間短縮と即納を維持するための課題と具体化方針
 - ・生産計画作成の課題と具体化方針
 - ・他部門と連携するための課題と具体化方針
- ⑤まとめ
 - ・質疑応答
 - ・まとめ

対象者

生産現場における生産管理等の業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具、電卓

使用機器

パソコン、プロジェクタ

コース番号	日程
1M211	令和7年2/26(水)、27(木)、28(金)

受講者の声

- 受講するまではどうやって改善していけばいいのかさえ分かりませんでした。今回いっぱいヒントをもらい役に立てそうと思いました。
- 自社のボトルネックとなっている問題点が見え、改善する必要性を改めて再認識できました。また、日々の業務で取り組める内容だったので、他部門への横展開がしやすくなりました。
- 一般的な生産管理の考え方で会社で学んだ生産管理の考え方の相違、また色々な企業の問題点など意見交換が出来てとても役に立ちました。



オペアンプ回路の設計・評価技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00～16:00	12,500円

◆オペアンプ回路の設計及びブレッドボード上での製作及び測定器による回路測定を学ぶコースです。

訓練内容

オペアンプを中心に、アナログ能動素子についての概要や特性を理解するとともに増幅回路の設計と製作を通して、その利用法を習得します。

- ①コースの概要及び留意事項
 - ・コースの目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②オペアンプ概要
 - ・オペアンプの動作
 - ・各種増幅回路
- ③オペアンプ利用回路と動作原理
 - ・コンパレータ回路
 - ・増幅回路
 - ・ボルテージフォロウ
- ④オペアンプ利用回路の設計・評価
 - ・コンパレータ回路
 - ・増幅回路
 - ・ボルテージフォロウ
- ⑤まとめ

対象者

電子機器の回路設計・開発に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

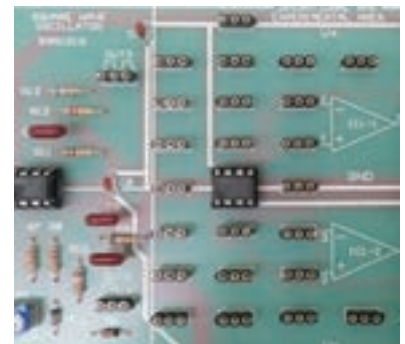
使用機器

DC電源・OSC・オシロスコープ・アナログ素子

コース番号	日程
1D141	10/29(火)、30(水)、31(木)

受講者の声

- オペアンプやコンパレータなど詳しい動作や動きなどの知識を得ることが出来ました。
- 計測器の使い方から部品の特性、データシートの見方等、今後の業務に活かすことができます。
- 業務で設計などをする場合の部品の選定方法や動作を理解するのに役立ちます。



●デバイス・基板製造

基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00～16:00	12,500円

◆高度な鉛フリーはんだ付け技術を習得されたい方におすすめのコースです。

訓練内容

鉛フリーはんだ付け技術として、はんだごての選定、こて先温度の設定、はんだ付けの基本動作、時間などを習得します。

- ①コースの概要及び留意事項
 - ・コースの目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②はんだ付け概要
 - ・鉛フリー化
 - ・手はんだ付けの科学的知識
- ③はんだ付けの手法
 - ・鉛フリー手はんだ付け方法
 - ・鉛フリー手はんだ付け作業のポイント
- ④はんだ付け開発演習
 - ・鉛フリー手はんだ付け実習
 - ・挿入実装、表面実装
- ⑤まとめ

対象者

電子機器の回路設計・開発に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

はんだごて、ニッパ、ペンチ

コース番号	日程
1D062	10/10(木)、11(金)

受講者の声

- 業務上はんだ付け作業をやることがあり、基本的なところを知らずに見よう見まねでやっていたので、正しい知識を教えていただいて助かりました。
- 新たな技能技術を知ることが出来ました。



●シーケンス(PLC)制御設計

受付状況の確認は web サイト→

ポリテクセンター熊本

検索

有接点シーケンス制御の実践技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	4日	24時間	9:00 ~ 16:00	18,000円

◆有接点シーケンス回路の設計・製作技法をしっかりと学び、有接点シーケンス制御技術を用いた電動機(コンベアユニット)の制御を学びます。

訓練内容

制御機器・アクチュエータの原理や構造と図記号、回路の読み方などの知識を理解すると共に、配線作業・点検作業・試運転などの実習を通して、実践的な回路設計技術及び運用技術を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・問題点の整理
 - ・安全上の留意事項
 - ②有接点シーケンス制御の概要
 - ・シーケンス制御の概要と構成
 - ③各種制御機器の種類・選定方法
 - ・各種制御機器の図記号の読み方
 - ・電磁リレー、タイマーの構造と選定
 - ④主回路と制御回路
 - ・シーケンス図の表し方
 - ⑤有接点シーケンス製作実習
 - ・配線作業
 - ・ベルトコンベア装置を用いた制御実習
 - ⑥まとめ
- ※本コースは「有接点シーケンス制御の実践技術(2日間)」と「シーケンス制御による電動機制御技術(2日間)」のセットコース(4日間)となります。

対象者

生産現場の電気保全作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

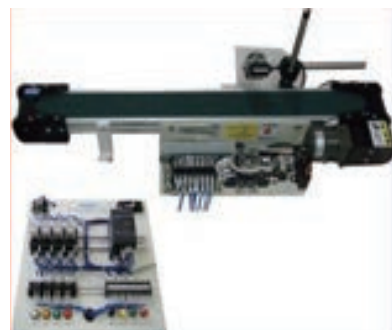
使用機器

リレー盤・コンベアユニット

コース番号	日程
1D122	10/22(火)、23(水)、24(木)、25(金)

受講者の声

- 会社の業務でよく目にする図面を自分で論理立てて作成することが出来そうです。
- 業務上で目にすることはあった、リレーの原理を知ることが出来ました。
- 既存の設備にタイマー等を加え一人で改良できます。



●シーケンス(PLC)制御設計

PLCプログラミング技術 (使用機器：三菱FXシリーズ)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	9,000円

◆PLCの構造、入出力回路の結線から、基本命令を中心としたPLCプログラミングを実習を中心に学習し、PLCによる制御を習得します。

訓練内容

PLC制御の基本である、デバイス割り付けとサポートソフトによるプログラミング、モニタリング技術を習得します。また、実習を通して基本命令、応用命令を用いた、実用的なプログラミングについても習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・問題点の整理
 - ・安全上の留意事項
- ②自動化におけるPLCに係る知識
 - ・PLCの構造と構成
 - ・インターフェースと結線に係る知識
- ③実践的プログラミングの手法
 - ・GPPの取扱い方法
 - ・PLCの命令体系について
 - ・プログラミング手法について
- ④デバッグ
 - ・動作テストによる異常の発見方法
 - ・GPPモニタモードによるプログラムの修正方法
- ⑤まとめ

対象者

生産現場の電気保全作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

三菱Fx-3G

コース番号	日程
1D092	11/19(火)、20(水)

受講者の声

- 何となく知識で業務に取り組んでいた為、理論的に理解ができました。
- 配線及びプログラミングの方法を知ることができました。



シーケンス(PLC)制御設計

PLCによる自動化制御技術 (使用機器：三菱Qシリーズ)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00～16:00	12,500円

◆ PLCにおける“数”の取扱い、順序回路の考え方を学び、数値制御、順序制御によるベルトコンベア等PLC制御の実践技術を学びます。

訓練内容

自動化生産システムの設計・保守の最適化を目指して、PLCの数値演算処理に関する手法とシーケンス制御に関する応用力を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的
 - ・問題点の整理
 - ②FAモデルの構成
 - ・PLCの構造と構成
 - ・インターフェースと結線に係る知識
 - ③制御回路製作実習
 - ・入出力機器との配線
 - ・GPPの取り扱い方法
 - ・プログラミング手法について
 - ・応用命令を用いた数値の取り扱い
 - ④総合実習
 - ・ベルトコンベア装置を用いた自動化制御実習
 - ⑤まとめ

対象者

生産現場の電気保全作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

三菱Qシリーズ

コース番号	日程
1D102	令和7年1/15(水)、16(木)、17(金)

受講者の声

- 内部リレーやショートカットキーの使い方が上手くなりました。
- 予知保全などのシステム開発に役立つと思われるシステムの作り方を習得できました。
- 生産装置のタクトアップ、停止期間の最小化ができました。



シーケンス(PLC)制御設計

PLC制御の回路技術 (使用機器：三菱Qシリーズ)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00～16:00	12,500円

◆ 空気圧2軸ロボットを用いて実際に機器を動かす順序制御によるPLCプログラミングを習得します。

訓練内容

PLC(プログラマブル・ロジック・コントローラ)に関する知識、回路(ラダー図)の作成技術を総合実習を通して、実践的な回路設計技術、運用管理、安全管理などの実務能力を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的
 - ・問題点の整理
 - ②自動化におけるPLCに係る知識
 - ・インターフェースと結線に係る知識
 - ・実習機材を用いた回路設計技術
 - ③実践的プログラミングの手法
 - ・PLCの命令体系について
 - ・プログラミング演習
 - ④総合演習
 - ・空気圧2軸ロボットを用いた自動化制御実習
 - ⑤まとめ
 - ・運用管理
 - ・安全管理

対象者

生産現場の電気保全作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

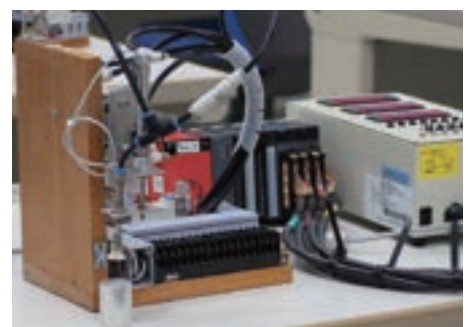
使用機器

三菱Qシリーズ

コース番号	日程
1D171	令和7年2/4(火)、5(水)、6(木)

受講者の声

- PLCは使用していたが自己流でした。今回学んだ事でこれまで知らなかった知識を習得出来ました。
- 順序を踏んで説明があり、実際にやってみる事で理解が深まりました。



●シーケンス(P L C)制御設計 受付状況の確認は web サイト→ ポリテクセンター熊本 検索

P L Cによるタッチパネル活用技術	定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
	10名	3日	18時間	9:00 ~ 16:00	12,500円

◆改造・改善。タッチパネルで見える化を行えます。

訓練内容

ライン設備機能の効率化・改善をめざして、生産現場で活用されているタッチパネルの効率的な画面設計とそれに対応したP L Cのプログラミング方法を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的 ・専門的能力の現状確認
 - ・問題点の整理 ・安全上の留意事項
- ②タッチパネルの概要
 - ・タッチパネルの構造について ・P L Cとタッチパネルの通信について
- ③回路設計
 - ・P L Cラダープログラム演習
- ④画面作成実習
 - ・G T Designer の取扱い方法
 - ・各種入出力機能の取り扱い方法 (スイッチ、ランプ等)
- ⑤総合課題
 - ・タッチパネルによるベルトコンベア装置の制御実習
- ⑥まとめ

対象者

生産現場の電気保全作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

三菱 GOT

コース番号	日 程
1D112	令和7年1/28(火)、29(水)、30(木)

受講者の声

- タッチパネルの仕組みの理解につながりました。
- 社内での教育では殆どできなかったのので、基礎等が理解できました。



●組み込みシステム開発・設計

組み込みシステムにおけるプログラム開発技術 (C言語 配列・関数編)	定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
	10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	9,000円

◆C言語による組み込みシステム開発を行う方におすすめのコースです。

訓練内容

マイコン制御システムにおけるプログラム開発に必要なC言語(文法、配列等)を習得することにより、システムまたはプログラム上での問題点の解決を図ります。

- ①コースの概要及び留意事項
 - ・コースの目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②C言語の文法(変数・データ型)
- ③演算子について
 - ・演算子の種類(算術、比較、論理)
 - ・演算子の順序
- ④制御文を用いたプログラム(分岐・繰り返し)
- ⑤プログラム開発演習
 - ・配列を用いたプログラム
 - ・関数の定義と使用について
- ⑥まとめ・評価

対象者

組み込みシステム開発のためにC言語を習得したい技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

PC

コース番号	日 程
1D013	11/26(火)、27(水)

受講者の声

- C言語の理解を深められました。C言語について自学していきたいです。
- C言語の記述について理解することができました。
- 基本からの指導であったためわかりやすく、実際にプログラムを動かし、順序立てて学ぶことができました。



●組み込みシステム開発・設計

受講申込メールアドレス kumamoto-poly03@jeed.go.jp
 コースのお問合わせ先 096-242-6613

オブジェクト指向による組み込みプログラム開発技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00～16:00	10,000円

◆オブジェクト指向プログラミングを習得されたい方におすすめのコースです。

訓練内容

Javaを用いたシステム開発やAndroidアプリの開発をこれから始める方におすすめです。
 Androidアプリの開発にも使用される、Java言語を用いてオブジェクト指向プログラミングについて習得します。

- ①コースの概要及び留意事項
 - ・コースの目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②開発環境
 - ・開発環境構築
 - ・開発フロー
- ③オブジェクト指向プログラミング概要
 - ・インスタンスとクラス
 - ・カプセル化
 - ・継承
- ④Java言語を用いたプログラミング開発演習
- ⑤まとめ

対象者

Androidのアプリケーション開発を行う技能・技術者等、またはJava言語を習得したい技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

PC

コース番号	日程
1D042	10/17(木)、18(金)

※習得度向上のため、「オープンソースプラットフォーム活用技術 (Android編)」を続けて受講して頂くとより効果的です。

受講者の声

- 自身が行っている業務と共通する部分もあり、改めて知識を深めることができました。
- オブジェクト指向の内容理解がしやすくなった。



●組み込みシステム開発・設計

オープンソースプラットフォーム活用技術 (使用機器：Android)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00～16:00	9,000円

◆プログラミング言語にKotlinを用いてAndroidアプリケーションを開発します。

訓練内容

多くのスマートフォンやタブレットPC等の携帯端末で導入されているAndroidについて学ぶとともに、Androidアプリケーションの開発実習を行います。
 使用言語は、Javaを発展させ現在のAndroidアプリ開発のスタンダードとなっているKotlinです。

- ①コースの概要及び留意事項
 - ・コースの目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②Android概要
 - ・Androidの特徴
 - ・Android活用事例
- ③アーキテクチャ構成要素
 - ・アプリケーション構成要素
 - ・データストレージ機能
 - ・セキュリティモデル
- ④開発環境
 - ・開発環境構築
 - ・開発フロー
- ⑤アプリケーション開発演習
 - ・GUIアプリケーション開発
 - ・デバイスの使用法
- ⑥まとめ

対象者

「オブジェクト指向による組み込みプログラム開発技術」のセミナーを受講された方、もしくは同等の技能を有する方

持参品

筆記用具

使用機器

PC、タブレット

コース番号	日程
1D051	10/24(木)、25(金)

※本コースを受講される方には事前に「オブジェクト指向による組み込みプログラム開発技術」を受講されることをおすすめします。

受講者の声

- 以前から興味があったが、これまで入り口が分からなかった。受講して、導入からテストまで理解できてよかった。



●マイコン制御設計

受付状況の確認は web サイト→ ポリテクセンター熊本 検索

マイコン制御システム開発技術 (使用機器：Arduino)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00～16:00	13,500円

◆ Arduinoを用いたマイコン制御技法を習得します。短時間でマイコン制御や製品試作を行いたい方におすすめのコースです。

訓練内容

短時間でマイコン制御方法を習得したい方向けの講座です。入出力装置をマイコンボードに接続するための電子回路の組み立てとC言語に近いArduino言語を用いた制御プログラム開発について習得します。

なお、セミナーで使用した Arduino はお持ち帰りいただけます。

- ①コースの概要及び留意事項
 - ・コースの目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②Arduino 概要
 - ・Arduino の特徴
 - ・Arduino の種類
 - ・Arduino 活用事例
- ③開発環境
 - ・開発環境構築
 - ・開発フロー
- ④入出力回路とプログラミング
 - ・LED 制御
 - ・スイッチ制御
 - ・各種センサーを用いた制御プログラム開発演習
- ⑤マイコン内蔵周辺機能 (A/D 変換、タイマ、割込み等) プログラミング
 - ・A/D 変換によるセンサーからの値の取得
- ⑥プログラム開発演習
 - ・シリアル通信とセンサ値取得
- ⑦まとめ

対象者

制御システム開発業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

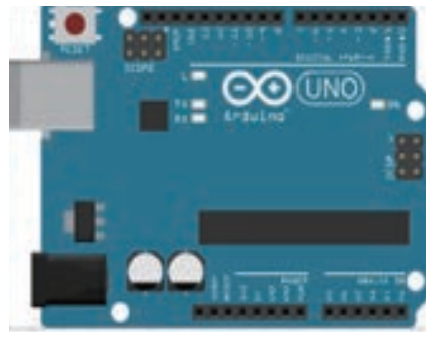
使用機器

PC、Arduino

コース番号	日程
1D022	12/16(月)、17(火)、18(水)

受講者の声

- 現場で Arduino をよく使っているのので、改めてきちんと理解することが出来ました。



●マイコン制御設計

マイコン制御システム開発技術 (使用機器：Raspberry Pi)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00～16:00	12,500円

◆ Raspberry Pi ができること、向き不向きを3日間で体得します。

訓練内容

小型のパソコンとして利用できるARMプロセッサが搭載されたシングルボードコンピュータです。LinuxのOS上で動作する入出力制御プログラム開発技術を習得します。また、小型パソコンとしての活用方法を解説します。カメラやスピーカーなどの制御が容易に実現でき、製品試作や治具製作に適しています。

- ①コースの概要及び留意事項
 - ・コースの目的
 - ・専門的能力の現状確認
 - ・安全上の留意事項
- ②Raspberry Pi 概要
 - ・Raspberry Pi の特徴
 - ・Raspberry Pi の種類
 - ・Raspberry Pi 活用事例
- ③開発環境
 - ・開発環境構築
 - ・開発フロー
- ④GPIO による入出力プログラミング
 - ・LED 制御
 - ・スイッチ制御
- ⑤周辺機器制御プログラミング
 - ・カメラ制御
 - ・スピーカー制御
- ⑥リモート接続
 - ・ファイルサーバとしての活用
- ⑦まとめ

対象者

制御システム開発業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

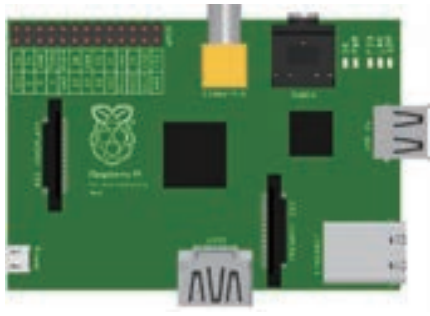
使用機器

PC、Raspberry Pi

コース番号	日程
1D032	令和7年1/22(水)、23(木)、24(金)

受講者の声

- 自動化設備の試作、動作確認等に活用できます。
- IoT 関係の活動を展開するためのキーマンを作ることができました。



空気圧機器の保全

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00～16:00	12,500円

◆実習を中心に空気圧の原理、機器の内部構造を習得します。

訓練内容

空気圧制御機器の概要、使用方法を学び、空気圧実習ユニットを用いて、組立て調整法、診断、予防保全に関連する技術・技能を習得します。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的 ・専門的能力の現状確認
 - ・問題点の整理 ・安全上の留意事項
- ②空気圧機器の保守管理の概要
 - ・空気圧機器の構造と構成 ・空気圧機器の保守管理
- ③オールエアーシステムの回路製作
 - ・空気圧機器の選定
 - ・オールエアーシステムの回路設計 ・オールエアーシステムの回路製作
- ④機器の故障診断実習
 - ・機器を分解することによる故障診断 ・回路の動作確認による故障診断
- ⑤まとめ
 - ・運用管理と安全管理

対象者

生産現場の空気圧機器取扱いに従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

空気圧実習ボード

コース番号	日程
1D151	11/26(火)、27(水)、28(木)

受講者の声

- 何となく分かるを理論的に理解する事ができました。空気圧機器の中を分解し、構造を理解できました。
- 異常の早期発見及び対応に活用できます。
- 機器に対する知識を深め、保全技術の向上に寄与しました。



電気系保全実践技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00～16:00	12,500円

◆有接点回路の故障個所の発見・修復及びP L Cプログラミングを習得します。

訓練内容

自動生産設備の診断や予防保全を目指して、F Aラインを想定した総合実習により制御機器の保全技術、故障個所の特定からその対処方法及び自動生産ラインの運用・安全管理技術を学びます。

- ①コース概要及び留意事項
 - ・訓練の目的 ・専門的能力の現状確認
 - ・問題点の整理 ・安全上の留意事項
- ②制御機器に生じる不良の要因
 - ・P L C機器の構造と構成 ・欠陥の種類
- ③プログラミング演習
 - ・G P Pの取扱い方法 ・P L Cの命令体系について
 - ・プログラミング手法について
- ④トラブルとその対策
 - ・有接点シーケンス回路の点検方法 ・有接点シーケンス回路の修復作業
 - ・P L Cプログラムの追加・修正方法
- ⑤まとめ
 - ・運用管理と安全管理

対象者

生産現場の電気保全作業に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

リレー盤・P L C

コース番号	日程
1D161	12/10(火)、11(水)、12(木)

受講者の声

- 不具合の対応の仕方、保全の事を学べました。
- シーケンスのトラブルの修理、電装系の修理の手法を学ぶ事が出来ました。
- 設備の電気回路でのトラブル対応の時間短縮につながります。



●電気設備保全

受付状況の確認は web サイト→ [ポリテクセンター熊本](#)

検索

高圧電気設備の保守点検技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	10,000円

◆高圧受電設備の構成や図面の見方、保守・点検について習得できます。

訓練内容

電気設備保全／電力変換設備保全の現場力強化を目指して、高圧受電設備を使用した保守点検方法及び絶縁診断等の実習を通して、高圧電気設備の工事・維持及び運用実務を効率よく安全に行える技能・技術を習得します。

- ①自家用電気工作物の概要
 - ・電気安全について
 - ・自家用電気工作物の概要
 - ・高圧受電設備の概要
- ②高圧電気設備の点検実習（停電）
 - ・模擬キュービクルでの操作、点検実習
 - ・模擬キュービクルでの測定、試験実習
- ③保守点検
 - ・電気災害について
 - ・高圧電気事故事例
 - ・機械監視による保守点検
- ④高圧電気設備の点検実習（充電）
 - ・高圧絶縁耐力の実演

対象者

電気設備の保全業務や施設管理業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

模擬キュービクル、検電器、マルチリレーテスタ、放射温度計

コース番号

1D191

日程

令和7年3/5(水)、6(木)

受講者の声

- 参考書を読むだけでは分からなかった事がクリアになりました。
- これまで理解出来ていなかったことを詳しく知ることができました。
- 座学と実習を行うことで日頃学ぶことのできない知識を身に付けることができました。



●電気設備保全／電気機器設備保全

現場のための電気保全技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	10,500円

◆これから電気関連の業務に従事する方に電気に関する安全知識と測定器の取り扱いを学ぶコースです。

訓練内容

電気設備保全／電気機器設備保全の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた現場に即した総合実習を通して、電気保全技術、故障箇所の特定からその対処方法及び、劣化防止、測定試験、作業の安全対策に関する技術を習得します。

- ①電気災害概要と対応策
 - ・感電の人体反応と対応策
 - ・短絡、漏電の対応策、接地の必要性と起因するトラブル
 - ・現場作業中の災害事例、安全対策
- ②生産設備のトラブルとその対策
 - ・リレーや回路の故障原因と対策
 - ・回路を構成する機器の故障発見技術
 - ・測定器を使用した回路確認
 - ・電動機の構造・特性と保護
- ③電気保全実習
 - ・機器選定実習
 - ・現場における測定検査実習
 - ・屋内配線の不良箇所の発見実習と対応策検討
 - ・制御盤の不良箇所の発見実習と対応策検討
 - ・電気機器の不良箇所の発見実習と対応策検討

対象者

設備の保全業務に従事する技能・技術者等、またはシーケンス技術を習得したい技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

配線用遮断器、漏電遮断器、電磁接触器、サーマルリレー、電磁リレー、各種スイッチ、表示灯、回路計、絶縁抵抗計、クランプ式電流計

コース番号

1D182

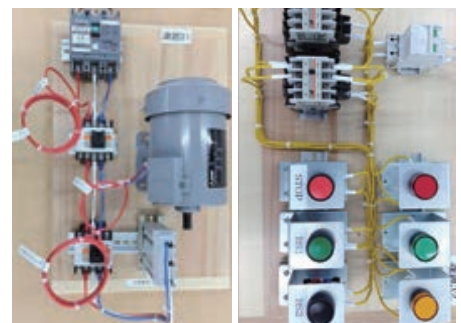
令和7年1/25(土)、26(日)

1D183

令和7年2/18(火)、19(水)

受講者の声

- 電気設備の保全業務において必要な知識を学ぶことができました。
- 現職でしていなかった点検方法(シーケンス)が分かりました。
- これまで得た知識がつながるようになったと思います。



● **建築設計 / 建築製図**

**実践建築設計 3次元CAD技術
 (プレゼンテーション編)**

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	11,000円

◆ 3次元CADを活用して、エスキス実習・モデリングの作成による意匠設計に関する技術を学ぶコースです。

訓練内容

建築設計の新たな品質の創造をめざして、高付加価値化に向けた計画段階におけるエスキス実習・モデリングの作成を通して、3次元CADを用いた意匠設計に関する技術を習得します。

- ① ARCHITREND ZEROの操作方法
 - (1) モデリングの知識 (2) 画面操作等
- ② 演習プランの確認
 - (1) 設定と画面操作 (2) 設計条件と敷地の配置
 - (3) 部屋のレイアウトと編集 (4) 壁・梁の編集
 - (5) 建具・家具の配置
- ③ プランの立体化(3次元化)
- ④ 各種図面の作製とパース作成
 - (1) 配置図・各階平面図・断面図・立面図作成・修正
 - (2) パースの作成
- ⑤ プレゼンテーション資料の作成

コース番号	日程
1H161	10/17(木)、18(金)

▼ **お知らせ** ▼

セミナー実施会場はポリテクセンター熊本ですが、担当講師は双方向通信方式により講習を行います。



福井コンピュータアーキテクト株式会社

対象者

建築意匠設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

ARCHI TREND ZERO

● **建築設計 / 建築製図**

**在来木造住宅設計実践技術
 (構造・省エネ編)**

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	11,000円

◆ 3次元CADを活用してモデル図面を作成し、壁量計算や省エネの外皮計算等に関する技術を学ぶコースです。

訓練内容

建築設計品質の向上及び業務の効率化を目指して、3次元CADを用いた確認申請書類(図面、壁量計算、省エネルギー計算)に関する技術を習得します。

- ① ARCHITREND ZEROの操作方法
 - (1) モデリングの知識 (2) 画面操作等
- ② 演習プランの確認
 - (1) 設定と画面操作 (2) 設計条件と敷地の配置
 - (3) 部屋のレイアウトと編集 (4) 壁・梁の編集
 - (5) 建具・家具の配置
- ③ 法規制の検討
 - (1) 構造計画(各種伏図の検討含む) (2) 省エネに関する演習
- ④ 基本設計図書作成
 - (1) 配置図・各階平面図・断面図・立面図作成
- ⑤ まとめ
 - (1) 作成した設計図書の確認・評価

コース番号	日程
1H171	12/12(木)、13(金)

▼ **お知らせ** ▼

セミナー実施会場はポリテクセンター熊本ですが、担当講師は双方向通信方式により講習を行います。



福井コンピュータアーキテクト株式会社

対象者

建築意匠設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

ARCHI TREND ZERO

● **建築設計 / 建築製図**

受付状況の確認は web サイト → **ポリテクセンター熊本**

検索

**実践建築設計 2次元CAD技術
(使用機器：JW_CAD)**

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	10,500円

◆ JW_CADを使用して建築図面の作成方法を習得するコースです。

訓練内容

建築図面の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた図面作成の実習を通して、建築図面に関する作成技術を習得します。

① 建築一般図と詳細図

- (1) 建築一般図について (各種図面概要、縮尺等)
- (2) 建築図面作成におけるCADシステムの役割
- (3) 実践的な建築図面作成の要点
- (4) 設定 (用紙・尺度設定、レイヤ設定等)
- (5) 図面作成
- (6) 図面修正・データ整理

② 種々の図面の構成手法

図面間でのデータ活用等

対象者

建築意匠設計業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

JW_CAD for Win

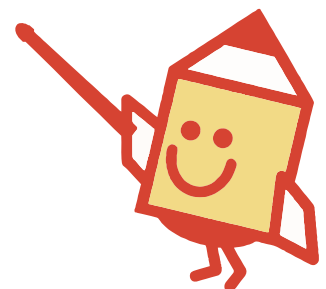
コース番号	日程
1H122	12/7(土)、8(日)

受講者の声

- 使用したことのないコマンドや、機能を学ぶことができました。我流のところの整理もすることができました。
- 図面をスムーズに書くことができるようになりました。
- 業務で使っていなかったコマンドを知ることができました。



MEMO



換気・排煙設備設計実践技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00～16:00	8,000円

◆ 換気及び排煙の設備設計の実践的な技術を習得するコースです。

訓練内容

換気・排煙設備工事の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた設備設計実習を通して、設計業務に必要な知識と問題解決の手法を習得します。

- ①コース概要及び留意点
 - (1) 訓練コースの概要説明 (2) 専門的能力の現状確認 (3) 安全上の留意事項
- ②換気設備
 - (1) 換気の必要性 (2) 自然換気と機械換気
- ③機械換気
 - (1) 機械換気の方式 (2) 機械換気設備の計画
- ④換気量の算定
 - (1) 換気量に関する法規制 (2) 一般換気
- ⑤排煙設備
 - (1) 排煙の目的 (2) 排煙の方式 (3) 排煙の設置基準 (4) 自然排煙と機械排煙
- ⑥排煙風量の算定
 - (1) 排煙風量 (2) 排煙ダクトの計画
- ⑦まとめ

対象者

換気・排煙設備の知識及び設計技術を必要とする技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具、電卓

▼▼ 以下のテキストを使用しますので、各自ご準備下さい ▼▼
 (コース番号: 1H071・1H081使用テキスト)

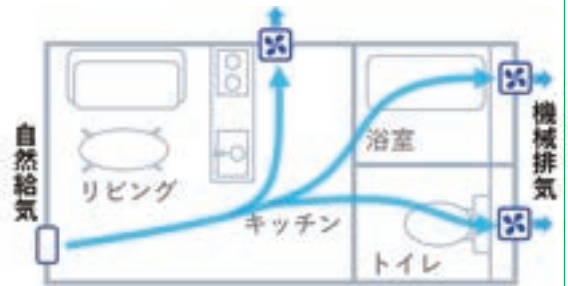
「イラストでわかる建築設備」山田信亮+菊池至+打矢澄二+中村守保: 著
 出版社 ナツメ社 ISBNコード 978-4-8163-5348-2 価格(税込) 2,860円

コース番号	日程
1H071	10/15(火)、22(火)

※令和5年7月開講コース「パッシブ換気を用いた設計の実務(換気・排煙設備編)」と同等の内容になります。

受講者の声

- 換気・排煙について理解することが出来ました。
- 換気・排煙の設計の進め方が分かり、日ごろの業務に活かしていきたい。
- 実践に即した具体的な内容で、ダクトの選定がとて分かりやすかった。



● 建築設備設計・計画

室内温熱環境設計技術 (空気調和設備編)

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00～16:00	8,000円

◆ 空気調和設備設計の実践的な技術を習得するコースです。

訓練内容

空気調和設備工事の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた設備設計実習を通して、設計業務に必要な知識と問題解決の手法を習得します。

- ①コース概要及び留意点
 - (1) 訓練コースの概要説明 (2) 専門的能力の現状確認 (3) 安全上の留意事項
- ②室内空間への要求
 - (1) 居住者の要求 (2) 設計者の要求
- ③室内気候と熱負荷計算
 - (1) 室内温熱環境の目標値 (2) 湿り空気線図の理解 (3) 熱負荷計算方法(実習)
- ④設備システム
 - (1) 冷暖房の原理 (2) 空調システム (3) 暖房システム
- ⑤室内環境計画の実習(省エネ手法)
 - (1) パッシブ手法 (2) アクティブ手法
- ⑥まとめ

対象者

空気調和設備の知識及び設計技術を必要とする技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

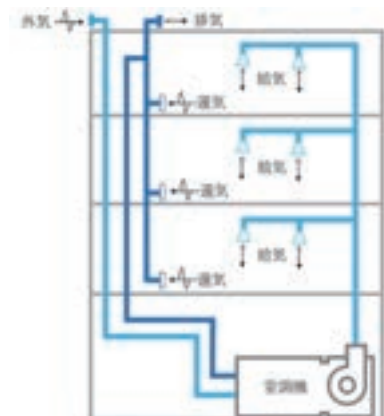
筆記用具、電卓

▼▼ 以下のテキストを使用しますので、各自ご準備下さい ▼▼
 (コース番号: 1H071・1H081使用テキスト)

「イラストでわかる建築設備」山田信亮+菊池至+打矢澄二+中村守保: 著
 出版社 ナツメ社 ISBNコード 978-4-8163-5348-2 価格(税込) 2,860円

受講者の声

- 通常業務で行わないため、新しい知識が身についた。
- 仕事に役立てることが出来ます。



● 建築構造設計

受付状況の確認は web サイト → [ポリテクセンター熊本](#)

検索

R C 構造物における構造計算技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	2日	12時間	9:00 ~ 16:00	12,500円

◆ R C 構造物についての構造計算技術を習得するコースです。

訓練内容

- R C 構造物の構造設計の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた構造計算実習を通して、構造設計の手順と構造計画技術を習得します。
- ①コース概要及び留意事項
・訓練コースの概要説明 ・専門的能力の確認 ・安全上の留意事項
 - ②構造計算概要
(1)鉄筋コンクリート構造の主な構造形式と構造計画 (2)構造形式と設計ルートを選定 (3)構造設計のポイント (4)構造計算書の概要
 - ③荷重と外力の算定
(1)鉛直荷重と水平荷重の種類と算定 (2)応用算定のための準備計算
 - ④存在応力の算定
(1)鉛直荷重時応力の算定 (2)水平荷重時応力の算定
 - ⑤断面設計・算定演習
(1)柱 (2)梁 (3)壁・耐震壁 (4)二次部材 スラブ・小梁 (5)剛性評価 スラブ・壁 (6)付着・接手・定着
 - ⑥2次設計演習
(1)層間変形角 (2)剛性率・偏心率
 - ⑦保有水平耐力の検討・演習
(1)保有水平耐力の検討法 (2)保有水平耐力の検討
 - ⑧構造図について
(1)構造図のチェックポイント
 - ⑨構造計算書
(1)構造計算書のチェックポイントとチェック演習
 - ⑩まとめ

対象者

R C 構造物(鉄筋コンクリート造)の設計・施工・検査業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具、関数電卓

使用機器

パソコン、関数電卓

コース番号	日程
1H151	10/22(火)、23(水)

受講者の声

- これまで疑問に思っていたことが解決できました。
- 普段あまり行わない手計算による構造計算を学ぶことができた。
- 専門外でしたが、興味深かったです。



● 基礎工事

コンクリート型枠施工の実践技術

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:00 ~ 16:00	18,000円

◆ 型枠施工図の作成から加工・組立までを習得するコースです。

訓練内容

- 基礎工事/躯体工事の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた施工実習を通して、型枠の実践的な加工及び組立の知識及び技能・技術を習得します。
- ①概要
(1)型枠及び支保工の内容と組立方法について
 - ②施工図
(1)コンクリート躯体図の読解 (2)組立図の作成 (3)下拵加工図の作成
 - ③現寸図
(1)振隅部現寸作成
 - ④墨付
(1)合板及び桟木への墨付
 - ⑤加工
(1)各パネル作成
 - ⑥組立
(1)建込み (2)水平・垂直・寸法の確認

対象者

鉄筋コンクリート造建築物のコンクリート型枠施工業務に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具

使用機器

大工用具一式

コース番号	日程
1H131	令和7年1/12(日)、25(土)、26(日)

受講者の声

- 親切的な指導で、とても分かりやすかったです。
- 新しい技術を身につけることができました。
- 分からないところを分かるまで教えていただけただけでより理解が深まりました。



トラブル事例から学ぶ各種管の加工・接合技術（建築配管作業編）

定員	日数	時間	時間帯	受講料(税込)
10名	3日	18時間	9:30～16:30	13,000円

◆建築配管作業の技能の習熟を図りたい方へおすすめのコースです。

訓練内容

建築配管作業の課題である各種管の接続作業の高度化を目指して、実践的な各種管の加工・異種管の接合技術と、計画立案等作業技術を習得します。

- ①コース概要及び留意点
 - (1) 訓練コースの概要説明 (2) 専門的能力の現状確認 (3) 安全上の留意事項
- ②設備配管の概要
 - (1) 給水設備 (2) 給湯設備 (3) 排水・通気設備
 - (4) 蒸気配管 (5) 温水暖房配管など
- ③各種管の加工・異種管の接合法
 - (1) 炭素鋼管の加工(手動ねじ切り)及び接合法
 - (2) ポリ塩化ビニル管の加工及び接合法
 - (3) 銅管の加工及び接合法
- ④計画立案等作業
 - (1) 図面の読み方 (2) 材料取り
- ⑤加工・接合課題実習
 - (1) 加工・接合課題実習 (2) 水圧テスト
- ⑥まとめ

対象者

建築配管作業の技能の習熟を図りたい技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者

持参品

筆記用具、作業服、作業帽、手袋、安全靴

使用機器

配管用工具一式

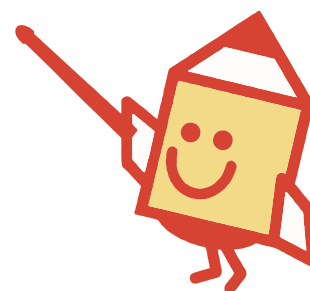
コース番号	日程
1H101	11/16(土)、23(土)、30(土)

受講者の声

- 結果的に建築配管作業に対応できました。
- 建築配管作業で活用できます。
- 仕事で同じ業務をしていて、どのような理屈で材料を使っているのか分からなかったが、このセミナーで知識を深めることができました。
- イメージをよりわかりやすく整理できました。



MEMO



オーダーメイドセミナーのご案内

ポリテクセンター熊本では、公開中の能力開発セミナーのほか、事業主や事業主団体の皆様のご要望に応じて、訓練内容・日程・時間帯を個別に相談しながら計画、実施するオーダーメイドセミナーを承っています。

こんなお悩みはありませんか？

- 自社の生産現場に即した研修を実施したい
- 自社では講師や機器・場所が不足して研修が行えない
- 公開中のセミナーでは、日程が合わない

このような課題を抱えている皆様のサポートをします!!

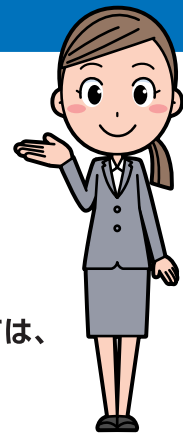


オーダーメイドセミナーのメリット

- ① 生産活動で抱えている課題の解決や職務内容に応じたカリキュラムが編成できます。
- ② 希望する開催日等をご相談の上、訓練コースを設定できますので、計画的な人材育成が行えます。
- ③ 社員教育に必要な講師、機材、研修会場等のご心配が不要です。

オーダーメイドセミナー計画のポイント

- ① 公開中の能力開発セミナーもオーダーメイドセミナーとして計画できます。
(ご案内にないコースについても、ご相談に応じています。)
- ② 会場は当センターとなりますが、実施内容により出張セミナーにも対応できます。
- ③ 受講者数は、講習内容等により異なりますが、原則5名以上となります。
(協力会社、系列会社等の合同実施でも構いません。)
- ④ 訓練時間は、1コース12時間以上です。訓練日程や受講者数、時間については、ご相談ください。
- ⑤ 費用(受講料)は、教材や諸経費を含めて提示します。



ご相談からオーダーセミナー実施までの流れ

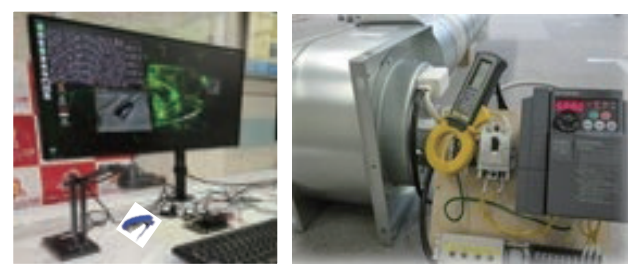


さらなる **スキルアップ** を目指すなら

高度 ポリテク センター



実習例



- ◆年間約**700**コースの豊富なカリキュラム
- ◆**経験豊富な講師陣**による実践的な研修内容

社員教育の一環として
ご利用ください！

人気コースの一例

詳しくは、公式サイトまたは当センターのコースガイドをご覧ください

- 金属材料の腐食対策
- カーボンニュートラルに向けた機械設計の進め方
- 実習でわかる省エネ診断と工場における省エネルギー技術
- AI・画像処理技術<集中育成コース>
- データサイエンス技術<集中育成コース>

お問合せ先

043-296-2582 (事業課)

所在地

〒261-0014

千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2

E-mail

kodo-poly02@jeed.go.jp



公式サイト



X(旧Twitter)



Youtube



Instagram



よくあるご質問 Q&A

◆◇受講申し込みの前に、必ずご一読くださいますようお願いいたします◆◇



Q1 受講申し込みはどのようにしたらよいですか？

A 「能力開発セミナー受講申込書」(P43)に必要事項をご記入のうえ、FAXまたはメールにてお申し込みください。(郵送または持参でも受付できます。)

Q2 申し込む場合の条件はありますか？

A 各コースに関する基本的な知識を有する方としております。ただし、コースによってはより詳細な受講条件を設定している場合があります。本コースガイド・ホームページでご確認ください。

Q3 受講申込書になぜ生年月日を記入する必要があるのですか？

A 所定の要件を満たした方に訓練の修了証書を発行しており、そこに記載するためです。

Q4 コースの詳しい概要について聞けませんか？

A 当センターのホームページをご覧ください。更に詳しい内容についてご質問がございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

Q5 希望するコースが定員に達している場合はどのようにしたらよいのですか？

A 「キャンセル待ち」としてお申し込みを受け付けることが可能です。キャンセルにより定員に空きが生じた時点で、順次ご案内いたします。

Q6 申し込んだコースが中止になることはありますか？

A 開講日の約1カ月前の時点で、受講申し込みが一定の人数に達していない場合は、中止または日程変更させていただく場合があります。また、講師の都合等やむを得ない事情により、開催直前に中止または日程変更することもありますので予めご了承ください。

Q7 申し込んだコースをキャンセルしたいのですが、どのようにしたらよいですか？

A 受講申し込みをしているコースを取消(キャンセル)する場合は、当該コース開講日の1週間前(土日祝日に当たる場合は、その前の平日)までに、先ず電話にてご一報いただき、その後、「受講者変更届・取消(キャンセル)届」をFAXまたはメールにて送付ください。この日を過ぎたお取消しや手続きがなされない場合は、受講料を全額ご負担いただくこととなりますのでご注意ください。なお、開講日の1週間前(土日祝日に当たる場合は、その前の平日)までにご連絡いただいたキャンセルにおいて、既に受講料を振り込まれている場合は、受講料を返金いたします。

Q8 申し込んだ後で、受講者を変更することはできますか？

A お申し込みいただいた事業所内での受講者の変更は可能です。当該コース開講日の1週間前(土日祝日に当たる場合は、その前の平日)までに、「受講者変更届・取消(キャンセル)届」をFAXまたはメールにてご連絡ください。

Q9 受講料の支払いはどのようにしたらよいですか？

A 当該コースの開講日の約2週間前までに、請求書及び振込依頼書をお送りします。コース開始日の1週間前(土日祝日に当たる場合はその前の平日)までにお振込みください。銀行振込手数料は、お客様のご負担となります。また、お振込みいただいた後「受講票」を郵送しますので、セミナー当日に必ずご持参ください。

Q10 申し込んだコースを欠席する場合はどのようにしたらよいですか？

A お電話またはFAXにてご連絡ください。

Q11 受講する際の服装・持ち物はどのようにすればよいですか？

A 服装について特に決まりはございません。
ただし、旋盤、フライス盤、溶接関係のセミナーなど、「持参品」欄や「備考」欄に作業服等の指定がある場合は、ご確認の上、ご持参ください。また、その他の持ち物に関しましては、「持参品」欄をご確認の上、当日までにご準備ください。

Q12 セミナー会場への案内はありますか？

A 当センターの本館玄関前の案内板でご確認いただけます。
また、事前にお送りしている「受講票」に記載してあります。
(都合により、受講票でお知らせした教室から変更になることもありますので、必ずご確認ください。)

Q13 駐車場はありますか？

A 当センターには駐車場（セミナー受講者用の駐車場 P52をご参照ください。（無料））があり、ご利用いただけます。
ただし、駐車場での事故等については、当センターでは責任を負いかねますのでご了承ください。

Q14 昼食についてはどのようにしたらよいですか？

A 当センターには食堂はございませんので、あらかじめ昼食をご用意いただくか、近隣の飲食店等をご利用ください。

Q15 宿泊施設はありますか？

A 当センターには宿泊施設がございません。ご宿泊の必要がある方は、お手数ですが、近隣の宿泊施設を各自でご予約ください。

Q16 セミナーの修了証書の交付条件はありますか？

A 修了証書は、出席時間が12時間以上かつ訓練時間の80%を満たしており、修了に値すると認められる場合に交付いたします。なお、修了証書の再発行はできませんのでご了承ください。

Q17 セミナー会場で録音および撮影してもよいですか？

A 受講中の写真・動画の撮影、録音等はお断りしておりますので、ご了承ください。

Q18 新型コロナウイルス感染症予防対策について、施設としてどのような対応を行っているのでしょうか？

A 当センターでは、マスクの着用につきましては、政府の方針を踏まえ、令和5年5月8日以降も引き続き、個人の主体的な選択を尊重し、個人の判断を基本とすることとします。
また、感染症法上の分類が変更された令和5年5月8日以降も、引き続き、「三つの蜜」の回避、人と人との距離の確保、手洗いといった基本的な感染対策について、ご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ先】 ポリテクセンター熊本 訓練課在職者訓練係
TEL 096-242-6613 FAX 096-242-9935
メール kumamoto-poly03@jeed.go.jp
<https://www3.jeed.go.jp/kumamoto/poly/>

能力開発セミナー受講申込書

独立行政法人
 高齢・障害・求職者雇用支援機構熊本支部
 熊本職業能力開発促進センター所長 殿

次のセミナーについて、訓練内容と受講要件（ある場合のみ）を確認の上、申し込みます。

申込日： 年 月 日

勤務先名	ふりがな	申込担当者	部署課名			
			氏名			
所在地	〒 -	業 種	ふりがな			
	(TEL - -) (FAX - -)					
企業規模 (該当に○印)	A. 1~29	B. 30~99	C. 100~299	D. 300~499	E. 500~999	F. 1,000人以上
受講料請求先 (該当に○印)	1 会社住所		2 個人住所（現住所）			
受講区分 (該当に○印)	1 会社からの指示による受講（※1）		2 個人での自己受講			

No	コース番号	コース名	開講初日	受講者名	生年月日
1			月 日	ふりがな	西暦
			/		・
				(男・女)	・
			現住所 〒 -	TEL ()	-
		就業状況(※2) (該当に○印)	1. 正社員	2. 非正規雇用	3. その他(自営業)
		訓練に関連する経験・技能等(※3)			
2			月 日	ふりがな	西暦
			/		・
				(男・女)	・
			現住所 〒 -	TEL ()	-
		就業状況(※2) (該当に○印)	1. 正社員	2. 非正規雇用	3. その他(自営業)
		訓練に関連する経験・技能等(※3)			
3			月 日	ふりがな	西暦
			/		・
				(男・女)	・
			現住所 〒 -	TEL ()	-
		就業状況(※2) (該当に○印)	1. 正社員	2. 非正規雇用	3. その他(自営業)
		訓練に関連する経験・技能等(※3)			

- ※1 受講区分の「1. 会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査への協力をお願いします。
 - ※2 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
 - ※3 訓練を進める上での参考とさせていただきます。今回受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入ください。
(例：切削加工の作業に約5年間従事)
- (注) 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第57号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
- ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理（連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備）及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。受講区分欄の1を選択された方は、申込担当者様あてに送付いたします。

■□□能力開発セミナー受講申込書の送付先□■□■

【メール】	kumamoto-poly03@jeed.go.jp	【FAX】	096-242-9935
-------	-----------------------------------	-------	---------------------

年間
月別
日程表

体系図

機械系

生産管理系
コース内容

電気・電子系

居住系

Q & A

受講申込書

各種案内

施設配置図

能力開発セミナー受講申込書

記入例

独立行政法人

高齢・障害・求職者雇用支援機構熊本支部
熊本職業能力開発促進センター所長 殿

次のセミナーについて、訓練内容と受講要件（ある場合のみ）を確認の上、申し込みます。

申込日： 2024 年 4 月 1 日

勤務先名	ふりがな かぶしきがいしゃ	申込担当者	部署課名 〇〇部〇〇課			
	(株) ●●●●		氏名 ふりがな こうし たろう 合志 太郎			
所在地	〒 861 - 1102 熊本県合志市須屋 2 5 0 5 - 3	業 種	〇〇業			
	(TEL 096 - 242 - 6613) (FAX 096 - 242 - 9935)					
企業規模 (該当に○印)	A. 1~29	B. 30~99	<input checked="" type="radio"/> C. 100~299	D. 300~499	E. 500~999	F. 1,000人以上
受講料請求先 (該当に○印)	<input checked="" type="radio"/> 1 会社住所	2 個人住所（現住所）				
受講区分 (該当に○印)	<input checked="" type="radio"/> 1 会社からの指示による受講（※1）	2 個人での自己受講				

No	コース番号	コース名	開講初日 月 日	受講者名 ふりがな	生年月日 西暦	
1	1M182	精密測定技術（長さ測定編）	10 / 2	ふりがな すや はなこ 須屋 花子 (男・ <input checked="" type="radio"/> 女)	1980・12・30	
			現住所 〒 861 - 1102 TEL (096) ××× - ××××	熊本県合志市須屋××××-××		
			就業状況(※2) (該当に○印)	<input checked="" type="radio"/> 1. 正社員	2. 非正規雇用	3. その他(自営業)
			訓練に関連する経験・技能等(※3)	●●●の作業に約5年間従事		
2			月 日	ふりがな	西暦	
			/		(男・女)	
			現住所 〒 - TEL () -			
			就業状況(※2) (該当に○印)	1. 正社員	2. 非正規雇用	3. その他(自営業)
3			月 日	ふりがな	西暦	
			/		(男・女)	
			現住所 〒 - TEL () -			
			就業状況(※2) (該当に○印)	1. 正社員	2. 非正規雇用	3. その他(自営業)
		訓練に関連する経験・技能等(※3)				

- ※1 受講区分の「1. 会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。
 - ※2 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
 - ※3 訓練を進める上での参考とさせていただくため、今回受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入ください。
(例：切削加工の作業に約5年間従事)
- (注) 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第57号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
- ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理（連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備）及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。受講区分欄の1を選択された方は、申込担当者様あてに送付いたします。

能力開発セミナー受講申込書の送付先

【メール】	kumamoto-poly03@jeed.go.jp	【FAX】	096-242-9935
-------	----------------------------	-------	--------------

能力開発セミナー受講者変更・取消（キャンセル）届

記入例

独立行政法人
高齢・障害・求職者雇用支援機構熊本支部
熊本職業能力開発促進センター所長 殿

能力開発セミナーの受講申込について、次のとおり受講者の（ 変更 ・ 取消 ）をします。

届出日： 2024 年 6 月 10 日

※受講者変更もしくは取消の場合は、以下の項目に適宜ご記入ください。

勤務先名	ふりがな かぶしがいいしゃ・・・ (株) ●●●●
所在地※	T 861 - 1102 熊本県合志市須屋2505-3 (TEL 096 - 242 - 6613) (FAX 096 - 242 - 9935)
申込担当者氏名※	部署課名： ●●部○○課 氏名： 合志 太郎

※「個人でのお申込み」の場合は、※印の項目のみご記入ください。

No.	区分	コース番号	コース名	開講初日	【変更・取消前】 受講者氏名	受講料 振込状況	【受講者変更の場合のみ】		
							受講者氏名	性別	生年月日
記入例	変更 ・ 取消	1M101	実践機械製図	12 / 12	ふりがな こうし たろう	<input type="checkbox"/> 未振込	ふりがな こよう はなこ	男	西暦
					合志 太郎	<input checked="" type="checkbox"/> 振込済 11月18日振込	雇用 花子	女	1990・10・10
1	変更 ・ 取消			/	ふりがな	<input type="checkbox"/> 未振込 <input type="checkbox"/> 振込済 月 日振込	ふりがな	男 ・ 女	西暦 ・ .
2	変更 ・ 取消			/	ふりがな	<input type="checkbox"/> 未振込 <input type="checkbox"/> 振込済 月 日振込	ふりがな	男 ・ 女	西暦 ・ .

※受講者取消の場合は、以下の項目に適宜ご記入ください。

1 受講取消理由	
●●●●のため	
2 受講料返還先 ※お振込みいただいた受講料は、開講日の1週間前(土日祝日にあたる場合はその前の平日)までの取消の場合、返金致します。	
振込先口座	●● 銀行 ●● 支店 預金 (普通 ・ 当座) 口座番号 (1234567)
フリガナ	コヨウ ハナコ
口座名義	雇用 花子

- ※1 受講者の取消（キャンセル）については、必ず開講日の1週間前（土日祝日にあたる場合はその前の平日）までにご連絡ください。（これ以降の取消及び連絡なしの場合は、キャンセル料として受講料全額を負担していただきます。）
- ※2 受講者の変更もしくは申込取消が生じた場合は、先ずお電話にて連絡後、この「受講者変更・取消（キャンセル）届」をFAX等にて送付ください。

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的

- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」（平成15年法律第57号）を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
- ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理（連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備）及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。

■□■□能力開発セミナー受講者変更届・取消（キャンセル）届送付先□■□■

【メール】	kumamoto-poly03@jeed.go.jp	【FAX】	096-242-9935
-------	----------------------------	-------	--------------

施設設備ご利用のご案内

ポリテクセンター熊本では、事業主等の皆様が自ら行う社員教育や研修の場を提供するために、実習場、研修室、機器等の施設・設備の貸与を行っています。

受付時間 平日 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

お申込み先 熊本職業能力開発促進センター 訓練課 在職者訓練係
〒861-1102 熊本県合志市須屋2505-3
【TEL】096-242-6613 【FAX】096-242-9935

1. ご利用できる主な施設・設備及びご利用料金

施設（研修室等）	収容定員 （注1）	1時間あたりの使用料(税込) （令和6年4月12日現在*1）
本館1階会議室	20名	200円
本館2階A201研修室	80名	350円
本館3階A301研修室	16名	200円
本館3階A302研修室	16名	350円
セミナー研修棟	36名	300円

- (1) ご利用日を問わず、別途警備料金を加算します。また、冬季に実習場を利用される場合、別途暖房（灯油）代が必要となります。
- (2) 使用料金は、原則として前払いとなります。

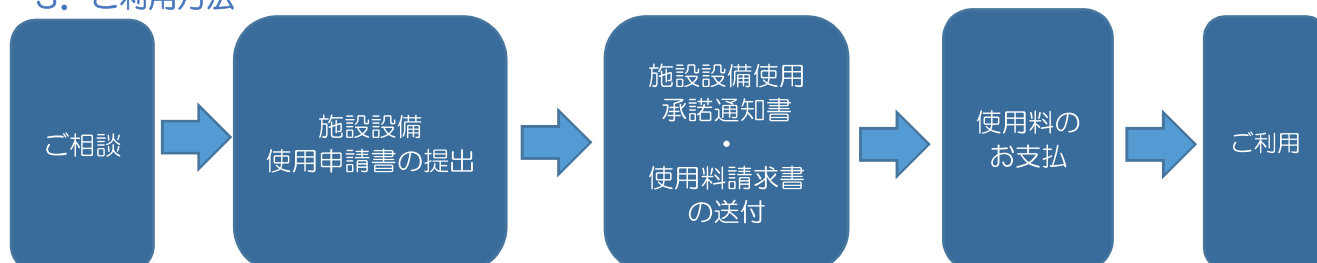
注 貸与する施設・設備の範囲は、実習場・教室等の中で貸与可能なもの及び訓練用機器・工具の中で貸与可能なものとし、教材及び消耗器材の貸与は行いません。

*1 上表の使用料は令和6年4月12日現在の料金です。料金の見直しにより、変更になる場合もあります。

2. ご利用できる時間帯（1時間単位でご利用できます。）

平日	9:00~21:00
休日（土・日・祝日）	9:00~16:00

3. ご利用方法



※使用後は原状回復をお願いします。

4. 施設設備使用申請書について

本コースガイドP47に「施設設備使用申請書」を掲載しておりますので、コピーしてご利用ください。また、ポリテクセンター熊本のホームページからもダウンロードできます。

施設設備使用申請書

独立行政法人

高齢・障害・求職者雇用支援機構熊本支部
熊本職業能力開発促進センター所長 殿

令和 年 月 日

〒
所在地
事業所等名
代表者氏名

貴施設の施設設備を使用したいので、下記のとおり申請します。

記

使用目的					人員	人
職業能力開発促進法第24条による認定の有・無 ※1					有 ・ 無	
貸与期間	令和 年 月 日 () ~ 令和 年 月 日 ()					
使用内容	場 所	月 日 (曜日)	時 間	希望訓練用機器等	台 数	
		()	: ~ :			
		()	: ~ :			
		()	: ~ :			
		()	: ~ :			
		()	: ~ :			
		()	: ~ :			
		()	: ~ :			
責任者連絡先	所属 氏名 電話番号					
使用場所に特別の設備をし、又は変更を加える場合、その内容						
備考					資格免許 ※2	

※1 職業能力開発促進法(以下「能開法」という)第24条による認定とは、都道府県知事により、能開法第19条第1項の厚生労働省令で定める基準に適合するものであると認定を受けた職業訓練のこと。
 ※2 貸与を希望する機器等の使用に当たり資格免許等が必要な場合は、申請時に施設担当者へご提示ください。施設担当者が確認のサインを記入します。

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的

○独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
 ○ご記入いただいた個人情報については施設設備使用の申請に関する事務処理及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。

記入例

施設設備使用申請書

独立行政法人

高齢・障害・求職者雇用支援機構熊本支部
熊本職業能力開発促進センター 所長 殿

令和〇年〇月〇日

〒861-1102

所在地 熊本県合志市須屋××××-××

事業所等名 株式会社 ●●●●

代表者氏名 合志 太郎

貴施設の施設設備を使用したいので、下記のとおり申請します。

記

使用目的	アーク溶接の業務に係る特別教育講習			人員	20 人
職業能力開発促進法第24条による認定の有・無 ※1				有 ・ 無	
貸与期間	令和 6 年 6 月 30 日 (日) ~ 令和 6 年 6 月 30 日 (日)				
使用内容	場所	月日(曜日)	時間	希望訓練用機器等	台数
	金属加工実習場	令和6年6月30日 (日)	9:00 ~ 17:00	溶接機	20台
		()	: ~ :		
		()	: ~ :		
		()	: ~ :		
		()	: ~ :		
		()	: ~ :		
		()	: ~ :		
責任者連絡先	所属 株式会社 ●●●● 氏名 合志 太郎 電話番号 096-×××-××××				
使用場所に特別の設備をし、又は変更を加える場合、その内容	特になし				
備考				資格免許 ※2	

※1 職業能力開発促進法(以下「能開法」という)第24条による認定とは、都道府県知事により、能開法第19条第1項の厚生労働省令で定める基準に適合するものであると認定を受けた職業訓練のこと。

※2 貸与を希望する機器等の使用に当たり資格免許等が必要な場合は、申請時に施設担当者へご提示ください。施設担当者が確認のサインを記入します。

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的

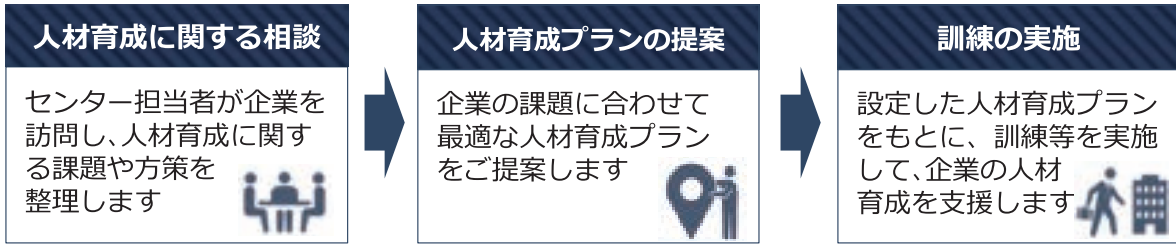
○独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。

○ご記入いただいた個人情報については施設設備使用の申請に関する事務処理及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。

生産性向上人材育成支援センターが 企業の人材育成をサポートします!!

高齢・障害・求職者雇用支援機構は「誰もが職業をとおりて社会参加できる共生社会」を目指し、高齢者や障害者、求職者等の方々に対する様々な雇用支援施策を国に代わって実施する厚生労働省所管の独立行政法人です。

当機構では、全国の公共職業能力開発施設（ポリテクセンター・ポリテクカレッジ等）に「生産性向上人材育成支援センター」（生産性センター）を設置し、企業の人材育成に関する相談支援から、課題に合わせた人材育成プランの提案、職業訓練の実施まで、企業の人材育成を総合的にサポートします。



在職者訓練（能力開発セミナー）

設計・開発、加工・組立、工事・施工、設備保全など“ものづくり分野”における、「技能・技術の向上」や「新たな製品づくり」といった生産現場の課題を解決するための実習を中心とした職業訓練です。また、DX（デジタルトランスフォーメーション）につながるデジタル技術に対応した訓練やGX（グリーントランスフォーメーション）につながる環境・エネルギー分野に関連する技術に対応した訓練も実施しています。地域のニーズを踏まえた訓練コースを設定するとともに、個別企業等のオーダーに応じた訓練コースにも対応し、機構の職業訓練指導員等が訓練を実施します。



▲ 難削材の切削加工実習



▲ 3次元CADを活用した機械設計実習



▲ 小型ロボットアームの制御実習



▲ 木造軸組工法による建物組立の実習

- (1) 訓練実施場所
全国のポリテクセンター、ポリテクカレッジの実習場 など
- (2) 訓練時間数
12時間～30時間
- (3) 受講料(1人あたり平均)
7,000円から30,000円程度
※平均13,000円程度、訓練内容や使用機材等により変動
- (4) 主な訓練分野
【**機械系**】 機械設計/加工、溶接加工 など
【**電気・電子系**】 電気設備保全、電子回路設計 など
【**居住系**】 建築設計・製図、建築施工、建築設備工事 など

「ハロートレーニング-急がば学べー」とは、新たなスキルアップにチャレンジするすべてのみなさんをサポートする公的職業訓練の愛称とキャッチフレーズです。



「従業員が身に付けるべき能力についての整理にも取り組みたい」といった場合には…
機構が業種ごとに整備している「職業能力の体系」モデルデータを活用し、各企業の仕事・作業に必要な知識や技能・技術の見える化等をサポートします。



information

指導員の派遣/施設設備の貸出

「研修したいが講師がない」「研修したいが機械を止められない」「研修場所がない」といった企業の要望に応じて、機構の職業訓練指導員（テクノインストラクター）を企業に派遣することや、ポリテクセンター等の施設・設備（実習場や訓練用機器等）の貸出しを行っています。



人材開発支援助成金

生産性センターが実施する職業訓練を従業員に受講させた事業主の方は、人材開発支援助成金を利用して、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成を受けることができます。

助成金の利用に当たっては、訓練対象者と訓練内容の関連が認められること、10時間以上の訓練であることなど一定の条件がありますので、詳しくは各都道府県の労働局にお問い合わせいただくか、厚生労働省ホームページをご確認ください。



(厚生労働省HPへ)

生産性向上支援訓練

生産管理、IoT・クラウド活用、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、70歳までの就業機会の確保に向けた中高年齢層の従業員の育成や、DX（デ

のために必要な知識・スキルを習得するための訓練です。

個別企業の課題に合わせてカリキュラムをカスタマイズする訓練コースや、地域のニーズを踏まえた訓練コースを設定し、専門的知見を有する民間機関等に委託して実施します。

- (1) 訓練実施場所 **企業の自社会議室 など**
- (2) 訓練時間数 **6時間～30時間**
(「IT業務改善」は、4時間～30時間)
- (3) 受講料（1人あたり・税込）
3,300円～6,600円
(「IT業務改善」は、2,200円～4,400円)
- (4) 主な訓練分野・コース

生産・業務プロセスの改善

工程管理のポイントや見直し及び改善を行う際の課題とその解決方法など、生産管理や生産現場の業務プロセスの改善に必要な知識や手法の習得を主な目的としています。

横断的課題

既存の業務の効率化や業務の改善、あるいは70歳以上の就業機会の確保に向けて中高年齢者の役割の変化への対応やノウハウ継承に必要な知識や手法の習得を主な目的としています。

売上げ増加

マーケティングや広報戦略、新商品の企画・開発やサービスの高付加価値化を実現するために必要となる知識や手法の取得を主な目的としています。

IT業務改善

生産性を向上させるための手段としてITを利活用する上で必要となるネットワーク、データ活用、情報発信、情報倫理・セキュリティに関する知識・手法の習得を主な目的としています。

- ・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
- ・RPAを活用して業務を自動化したい。
- ・テレワークを導入し業務を効率化したい。

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・リスクを低減させる方法を学びたい。
- ・ベテラン従業員の技術を後輩に継承させたい。

- ・顧客満足度の向上を図りたい。
- ・消費者の動向を営業に活用したい。
- ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

- ・データ集計の作業を効率化したい。
- ・マクロを使って定型業務を自動化したい
- ・集客につながるHPを作成したい

【生産・業務プロセスの改善】

- ・生産現場の問題解決
- ・RPA活用
- ・テレワークを活用した業務効率化 など

【横断的課題】

- ・組織力強化のための管理
- ・後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
- ・効果的なOJTを実施するための指導法 など

【売上げ増加】

- ・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
- ・提案型営業実践
- ・オンライン営業技術 など

【IT業務改善】

- ・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
- ・集客につなげるホームページ作成
- ・テレワークに対応したセキュリティ対策 など

「まずは試しに1～2名の従業員に訓練を受けさせたい」といった場合には…

広く受講者を募集して実施する公開型の訓練も実施しています。他社の従業員と一緒にグループワークなどを行うことで、自社の強みや課題の気づきにつながります。

人材のマッチング

ポリテクセンターでは、離職者向け職業訓練を実施しており、受講者の求職情報を企業に提供し人材を採用したい企業とのマッチングを支援しています。

また、ポリテクカレッジでは、高校卒業者等を対象に、ものづくりに関する高度な実践技術者の養成を行っています。



DX人材育成の支援

生産性センターでは、「中小企業等DX人材育成支援コーナー」を設置し、企業の皆様からの「デジタル対応に係る人材育成の悩み」に関するご相談を受け付けています。

また、在職者訓練・生産性向上支援訓練ではDXに対応した訓練コースを整備し、中小企業・事業主団体等のDX人材の育成を支援しています。



採用ご担当者様

ポリテク熊本の

人材情報を活用しませんか？



人手が欲しい…
誰か良い人いないか

…と思ったら

ポリテク 熊本

検索

ポリテクセンターの人材情報を活用ください！！



●ポリテク熊本のHPへアクセス

- ①「事業主の方へ」をクリック
- ②「訓練受講者および訓練修了者への求人」をクリック



- 受講訓練コースを選んで内容確認
訓練修了間近の訓練生から
修了後3ヶ月までの修了生情報を掲載

HP情報
隔週更新

訓練科名	訓練内容	修了生情報掲載期間
電気・電子系	電気設備工事	修了後3ヶ月以内
機械系	機械加工	修了後3ヶ月以内
生産管理系	生産管理	修了後3ヶ月以内

訓練科別に訓練生の情報を掲載しています。

希望する職種、地域、これまでの職務経験、所持資格、自己PRを掲載

●会ってみたい訓練生・修了生に対し面接希望の連絡

連絡方法 指名求人用紙(科名・番号)と求人票をポリテクセンターへFAX

※求人票はハローワーク様式、ポリテク熊本様式、どちらでも可

～本人への意思確認後、希望すれば面接実施～

※本人に意思の確認をとりますので、必ずしも面接して頂けるとは限りません。また、ご連絡時に就職が決定している場合もございます。

※指名求人場合は書類選考は出来ません。また、ジョブ・カードでの応募にご協力をお願い致します。

HP以外にも小冊子にての郵送もあります。HPへの掲載は小冊子郵送後の掲載となります。

ご連絡先 離職者訓練係

TEL 096-242-6614(直通)

FAX 096-242-9935

N

施設配置図



交番側
出入口
(※土日は
閉門)

第2研修棟

機械・居住系実習棟

渡り廊下

自動販売機

トイレ

喫煙場所

AED

駐車場

渡り廊下

セミナー
研修棟

駐輪場

国道387号線

訓練生
ホール

第3研修棟

第1研修棟

渡り廊下

ビル設備
実習場

本館

正面
出入口

金属加工
実習場

渡り廊下

駐輪場

【駐車場のご案内】
のスペースに駐車ください

電気設備
実習場

西側
出入口

能力開発セミナー・施設利用駐車場

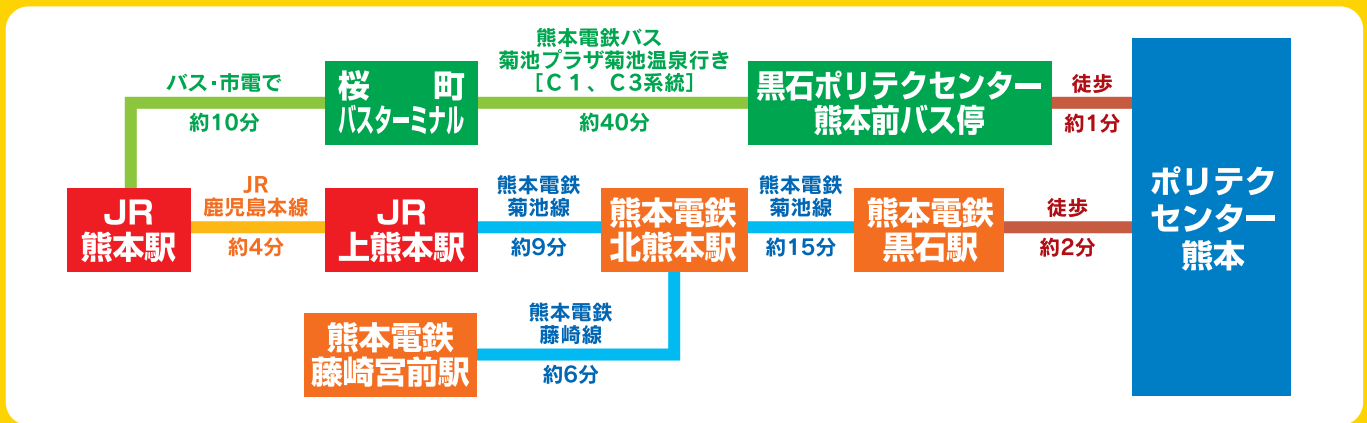
▶ 拡大地図



▶ アクセス



▶ 電車・バスでお越しの方



▶ お問い合わせ先

らしく、はたらく、
ともに

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構熊本支部
熊本職業能力開発促進センター



ポリテクセンター熊本

〒861-1102 熊本県合志市須屋2505-3

訓練課 在職者訓練係

TEL:096-242-6613
FAX:096-242-9935



【ホームページ】 <https://www3.jeed.go.jp/kumamoto/poly/>

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



ポリテクセンター熊本は、持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。